SONY

4-683-096-01 (1)

準備

動画を見る

音楽を聴く

写真を見る

その他




# ハードディスク マルチプレーヤー

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**




電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この製品情報には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この製品情報をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## *HMP-A1*

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

以降の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 故障したら使わない

すぐにサービス窓口、または販売店にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したとき**





❶ 電源を切る。
❷ AC アダプタや接続ケーブルを抜く。

### 警告表示の意味




取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。




この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。




この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号


注意


火災


感電

### 行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


水ぬれ禁止


ぬれ手禁止


風呂・シャワー室での使用禁止

### 行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く

# 目次





本書では Microsoft® Windows® 2000 Professional の記載を Windows 2000 として記載しています。
本書では Microsoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP Professional の記載を Windows XP として記載しています。








下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

## 再生時は周囲の状況に注意をはらう




周囲の状況を把握しないまま、再生を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

## 持ち運びのときに振り回さない




ハンドストラップをご使用の場合は、本機を振り回さないようにご注意ください。本機に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりすると故障やけがの原因となります。持ち運ぶ際には手で押さえるか、ポケットに入れるなどして本機を固定してください。

## 付属の AC アダプタおよび本機に対応したソニー製の電源以外は使用しない




火災や感電の原因となります。

## 運転中は使用しない




- 自動車、オートバイなどの運転中は使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 歩きながら使用する場合も、事故を防ぐために周囲の状況には十分ご注意ください。




下記の注意を守らないと、**健康を害する**おそれがあります。

## ディスプレイを長時間継続して見ない




ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイを見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

## 長時間使いすぎない




- 長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
  使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。
- ヘッドホンを使用中、肌にあわないと感じたときは早めに使用を中止して医師に相談してください。

## 通電中の本機や AC アダプタに長時間触れない




長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

## ⚠注意

**下記の注意を守らないと、けがをしたり、周辺の物品に損害を与えることがあります。**

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近くには設置しない


禁止

上記のような場所に設置すると、故障の原因となります。


風呂・シャワー室
での使用禁止

### 内部に水や異物を入れない


水ぬれ禁止

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、サービス窓口、または販売店にご相談ください。そのままコンピュータに接続すると、コンピュータの故障の原因にもなることがあります。

### 分解しない


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、ケースをむやみに開けたり改造したりすると、故障の原因となることがあります。内部の点検、修理はサービス窓口、または販売店にご依頼ください。

### ぬれた手でさわらない


ぬれ手禁止

ぬれた手で本機やACアダプタを触ると、感電の原因となることがあります。

### 指定された接続ケーブルを使う


指示

取扱説明書に記されている接続ケーブルを使わないと、故障の原因となることがあります。

### コネクタはきちんと接続する


指示

- コネクタに金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

### 長時間使用しないときは AC アダプタを抜く


プラグをコン
セントから抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。

### 布や布団などでおおった状態で使用しない


禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

### 安定した場所に置く


禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

### 大音量で聞かない


禁止

大きな音で聞き続けると聴力に影響を与えることがあります。また音が外にもれる場合があります。ヘッドホンを使用するときはご注意ください。

## ⚠危険 電池についての安全上のご注意

発熱、発火、漏液、爆発、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 火の中に入れない。
- 電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- ショートさせない。
- 分解、改造しない。
- 衝撃を与えない。
- 落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、(特に鋭利なもので)圧力をかけない。
- 漏れた液が手についたり目に入った場合は、きれいな水で洗ってください。目に入った場合はそのあと、ただちに医師に相談してください。

## リチウムイオン電池のリサイクルについて



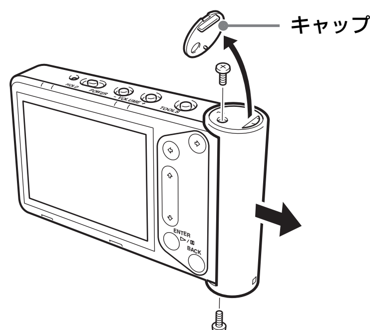
Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ（http://www.baj.or.jp/）を参照してください。

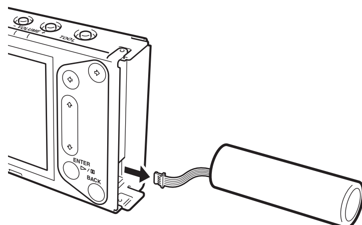
本機を破棄する場合は、下記の手順に従って電池を取りはずしてください。
電池の交換はサービス窓口へお申し出ください。
電池交換の場合は、電池を取りはずしておく必要はありません。
本機に内蔵された電池以外をお使いになりますと危険ですので、おやめください。
本機を破棄するとき以外は、本機の内蔵バッテリを取りはずさないでください。

### 内蔵バッテリの取りはずしかた

**1** **マイナス(−)ドライバーなどでキャップをはずしてから、プラス(+)ドライバーで本機右端のネジ(2 か所)をはずす。**



**2** **内蔵バッテリを取り出し、内蔵バッテリのケーブルを本機から引き抜く。**




**ご注意**

- 本機内部の温度が高くなっている場合があります。内蔵バッテリの取りはずしは、充分に温度を下げてから行ってください。
- 内蔵バッテリを取りはずしたときに、本機内部に異物が入らないようにご注意ください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 液晶ディスプレイについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素等があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
これらの理由による交換、返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
液晶ディスプレイを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓ぎわや屋外に置くときはご注意ください。

## 記録内容の補償はできません

データが破損したり、消去されたことによる損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 著作権について

あなたが本機で記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、記録を制限している場合がありますのでご注意ください。

# こんなことができます

本機は、コンピュータに保存されたビデオ（動画）ファイルや写真（静止画）ファイル、音楽ファイルを取り込んで、手軽に持ち歩くことができるポータブルマルチプレーヤーです。オフィスやカフェ、電車の中など、いつでもどこでも自分のお気に入りのデータを再生して楽しむことができます。



**動画はもちろん…**

MPEG1、MPEG2、MPEG4 の各形式のファイルを再生できます。これらの形式以外の AVI ファイルなども、付属ソフトウェア「HMP Image Transfer Manager」で MPEG 形式に自動変換して本機に転送されます。また、バイオコンピュータのオリジナルソフトウェア「Giga Pocket」で録画したテレビ番組（ビデオカプセル）や、CoCoon で録画した番組も楽しめます。



**写真も…**

思い出の写真をいつでもポケットに。見たいと思ったときにさっと取り出して見ることができます。アルバム何冊分もの写真でも、楽に持ち歩けます。

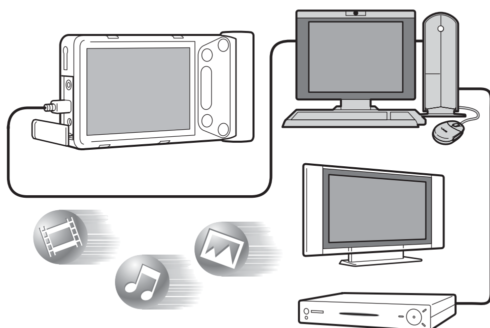


**音楽まで再生できる…！**

インターネットやコンピュータ上で広く普及している MP3 形式と WAV 形式の音楽ファイルを再生できます。特に圧縮効率の高い MP3 ファイルなら、本機の内蔵ハードディスクに数千曲も保存できるので、お気に入りの音楽をいつも持ち歩けます。外出時、お気に入りの CD や MD を家に忘れてきてしまった…！ということもありません。

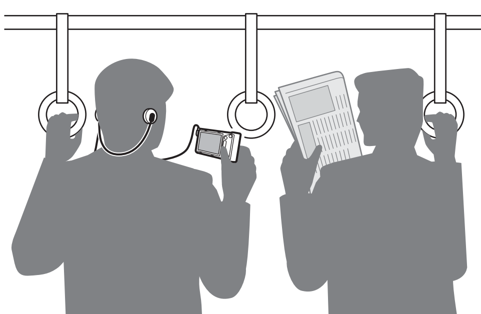
## ■ コンピュータからファイルを手軽に転送

USB 2.0 インターフェイスと容量 20GB のハードディスクを搭載し、サイズの大きい動画ファイルも高速かつ大量に転送できます。



## ■ 携帯性に優れたポータブルサイズ

持ち運びに適したポータブルサイズに 3.5 インチ高精細液晶ディスプレイを搭載し、いつでもどこでも動画や写真、音楽を楽しむことができます。片手でも操作できる操作パネルにより、狭い電車の中でも操作できます。また、電源がないところでも、内蔵リチウムイオンバッテリによって最長約 6 時間の連続再生が可能です。



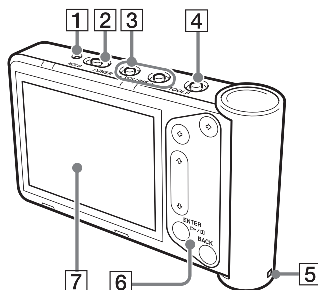
## ■ 外付けハードディスクとして使用できる

USB 2.0 対応外付けハードディスクドライブとして使用し、データを保存できます。専用のドライバをインストールせずにコンピュータに接続できますので、外出先での急なデータコピーに対応できます。

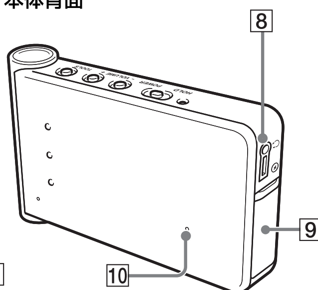


# 各部の名前とはたらき

本体正面




本体背面




### 1 アクセスランプ

点灯パターンによって、本機の動作状態を確認できます。

| 点灯パターン | 動作状態 |
|---|---|
| 緑の点灯 | 電源 ON |
| オレンジの点灯 | 内蔵バッテリの充電中 |
| 緑の点滅 | 内蔵ハードディスクにアクセス中（コンピュータへの接続時のみ） |
| オレンジの点滅 | 内蔵バッテリの残量が少ない |

### 2 電源スイッチ

電源を入れるときや切るときは、電源スイッチを「POWER」側に 1 秒以上押し続けます。電源スイッチを「HOLD」側にセットしておくと、本機の操作ボタンが無効になるため、持ち運び中などに誤ってボタンが押されるのを防ぎます。

### 3 音量ボタン（− / +）

動画ファイルや音楽ファイルの再生時の音量を調節します。+ボタンを押すと音量が大きくなり、−ボタンを押すと音量が小さくなります。

### 4 TOOLS ボタン

このボタンを押すと、現在表示されている画面で実行できる操作（ツール）のメニューが表示されます。

### 5 ハンドストラップ孔

ハンドストラップの取り付けかた



### 6 操作パネル（☞12 ページ）

### 7 ディスプレイ

8 ヘッドホンコネクタ

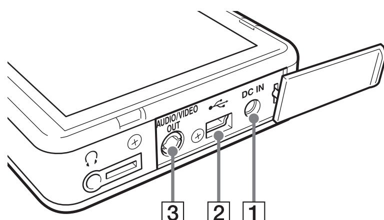
付属のリモコンやヘッドホンを接続します。

9 コネクタ部(☞ このページ)

10 リセットボタン

本機を強制的に初期化します。本機が動作しなくなった場合に、先の細いもの(クリップの先など)を使用してこのボタンを押します。
詳しくは「本機をリセットする」(☞76ページ)をご覧ください。

## コネクタ部




1 DC IN コネクタ

付属の AC アダプタを接続します。

2 USB コネクタ

付属の USB ケーブルを接続します。

3 AV OUT コネクタ

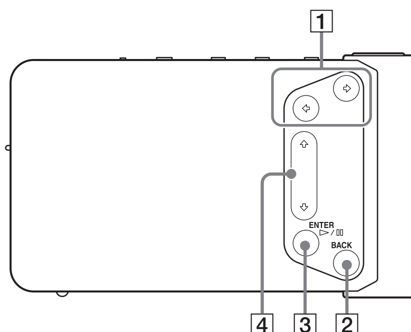
本機で再生する動画の映像をテレビなどに映し出すときに、付属の AV ケーブルを接続します。テレビの接続について詳しくは「テレビに接続して見る」(☞73 ページ)をご覧ください。

**ご注意**

ヘッドホンを、このコネクタに接続しないでください。

## 操作パネル

軽く触れるだけで動作するタッチセンサーが内蔵されているパネルです。パネルのくぼみに触れて操作します。
触れたときの動作は、再生／表示するファイルの種類によって異なります。
詳しくは各機能（動画再生／音楽再生／写真表示）の操作説明をご覧ください。




1 ⇦/⇨

タイトルリスト画面でのタブの切り換えや、コンテンツ再生画面での再生内容の早送り、早戻しなどの操作を行うことができます。

2 BACK

操作の取り消しや、前の画面に戻るとき、ファイルの再生を停止するときに触れます。

3 ENTER ▶/❚❚

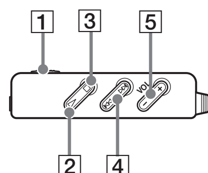
項目の選択や機能を実行、ファイルを再生／表示するときに触れます。

4 ⇧/⇩

タイトルリスト画面で、選択項目を上下方向に送るときに触れます。指を滑らせる速さに応じて送る速さが変化します。

## リモコン

ファイルの選択、再生や早送り／早戻し、音量調節などの操作を行うことができます。
詳しくは、各機能の説明をご覧ください。




1 HOLD スイッチ

HOLD スイッチを「HOLD」側にセットしておくと、持ち運び中などに誤ってリモコンの操作ボタンが押されるのを防ぎます。

2 ▶（再生）ボタン

ファイルを再生するときに押します。

3 ■（停止）ボタン

ファイルの再生を停止するときに押します。

4 ⏮/⏭ ボタン

ファイルの再生中での頭出しや早送り、タイトルリスト画面で選択項目を上下方向に送るときに押します。

5 ＋ / －（音量）ボタン

ヘッドホンの音量を調節します。＋ボタンを押すと音量が大きくなり、－ボタンを押すと音量が小さくなります。

# はじめに

## 必要な動作条件

本機をコンピュータに接続して、動画や音楽ファイルなどを転送するには、使用するコンピュータに以下の動作条件が必要です。

□ CPU：Pentium 互換　800MHz 以上

□ RAM：256M バイト以上

□ USB コネクタ *1

□ ディスプレイ：SVGA（800 × 600 ドット）、16bit カラー以上

□ 光学ドライブ
CD または DVD ドライブ

□ OS：Microsoft Windows 2000 Service Pack 4 以上
Microsoft Windows XP Professional Service Pack 1 以上
Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 1 以上
Microsoft Windows XP Media Center Edition

□ ソフトウェア *2
DirectX 8.0 以上
Internet Explorer 5.5 Service Pack 2 以上
Windows Media Player 9 以上

*1 High Speed USB（USB 2.0）準拠の USB コネクタの使用を推奨

*2 Giga Pocket 5.0 以上がインストールされているコンピュータを使用している場合は、本機に付属のソフトウェアを使用して、Giga Pocket で作成された動画ファイルを本機に転送できます。

**ご注意**

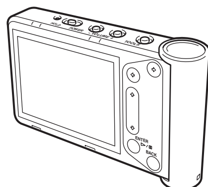
コンピュータや本機を操作中、万一のトラブルによる本機のデータ損失や破損に備えて、本機の書き込みキャッシュ設定は無効にしてお使いください。次の手順で設定を確認し、変更できます。

- Windows XP の場合
  1. ［マイ コンピュータ］を開いて本機のプロパティを表示する。
  2. ［ハードウェア］タブの［SONY HMP MK2004GAL USB Device］のプロパティを表示する。
  3. ［ポリシー］タブの［クイック削除のために最適化する］を選択する。
- Windows 2000 の場合
  1. ［マイ コンピュータ］を開いて本機のプロパティを表示する。
  2. ［ハードウェア］タブの［SONY HMP MK2004GAL USB Device］のプロパティを表示する。
  3. ［ディスクのプロパティ］タブの［書き込みキャッシュを有効にする］のチェックをはずす。

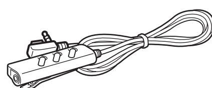
# 付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
付属品が足りないときや破損しているときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

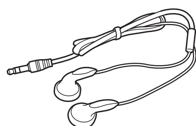
- 本体（1）



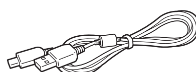

- リモコン（1）



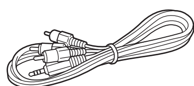
- ヘッドホン（1）



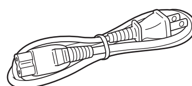
- USB ケーブル（1）



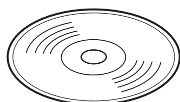
- AV ケーブル（1）



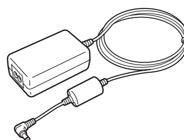
- 電源コード（1）



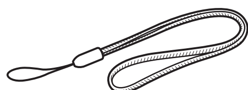
- ソフトウェアディスク（1）



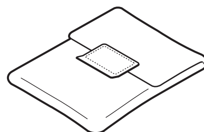
- AC アダプタ（1）



- ハンドストラップ（1）

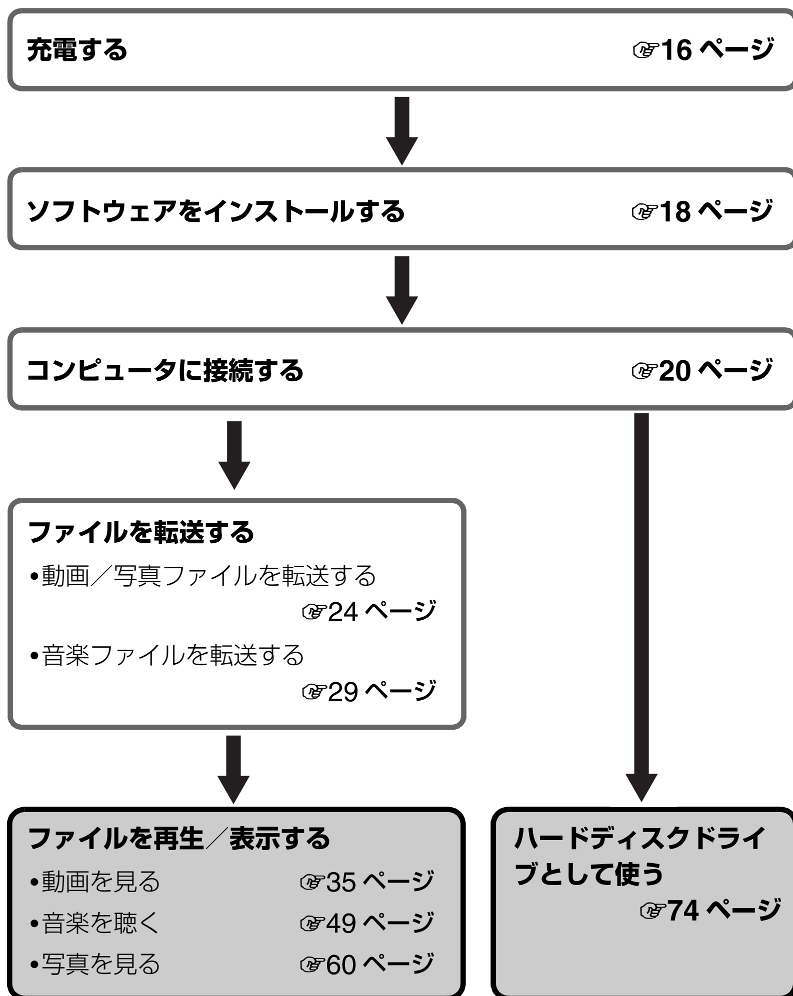


- キャリングケース（1）



- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）

## 本機を使えるようにするまでの流れ




ファイルは、あらかじめ用意してコンピュータに保存しておきます。音楽ファイルに限り、付属のソフトウェアで作成することもできます。また、本機にはあらかじめサンプルファイルが収録されています。

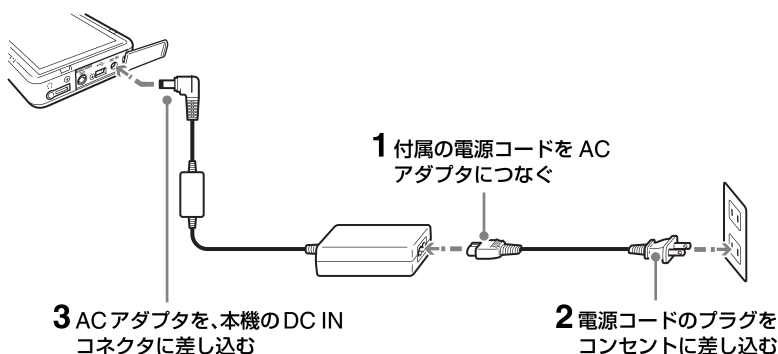
# 準備

## 充電する

本機を電源がないところに持ち出して使用するときは、あらかじめ本機の内蔵バッテリを充電する必要があります。
本機の内蔵バッテリを充電するには、次の 2 つの方法があります。

### AC アダプタを使用した充電

付属の AC アダプタと電源コードを使用して、次のように本機を電源に接続します。



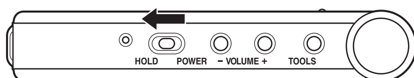

本機を電源に接続すると、内蔵バッテリの充電が開始されます。
充電中は、アクセスランプがオレンジ色に点灯します。空の状態から充電が完了するまでおよそ 2.5 時間かかります。充電が完了すると、アクセスランプは消灯します。

**ご注意**

本機に AC アダプタを接続した状態で、電源が入っていないときのみ充電が行われます。ファイルの再生／表示中は充電されませんのでご注意ください。

## USB ケーブルを使用した充電

**1** 電源スイッチを「HOLD」側にセットする。




**2** USB ケーブルで本機をコンピュータに接続する。

本機をコンピュータに接続すると、内蔵バッテリの充電が開始されます。充電中は、アクセスランプがオレンジ色に点灯します。充電が完了するまで約 7 時間かかります。

**ご注意**

- **バッテリ残量や使用環境、お使いのコンピュータの機種によっては正しく充電されない場合があります。本機をコンピュータに接続してもアクセスランプがオレンジ色に点灯しないときや、コンピュータに認識されないときは、AC アダプタで充電してください。**
- USB 接続で充電中、本機はコンピュータに［リムーバブルディスク］（ または ）として認識されますが、データの読み書きを行うことはできません。
- コンピュータの USB コネクタと本機を直接接続してください。USB ハブを使って接続すると、正しく充電できないことがあります。

### 内蔵バッテリについて

本機を内蔵バッテリのみで使用していくと、内蔵バッテリの残量が減少します。バッテリ残量は、ディスプレイ画面の右下に以下のアイコンで示されます。

| アイコンの表示 | バッテリ残量 | |
|---|---|---|
| (4目盛り) | 多い | 目盛りの数で、バッテリ残量のおよその目安を示します。 |
| (3目盛り) | | |
| (2目盛り) | | |
| (1目盛り) | 少ない | |
| (点滅) | 残量わずか（しばらくすると電源が自動的に切れます） | |
| (プラグ) | AC アダプタで動作中 | |

**ご注意**

バッテリ残量の数値はおよその目安です。実際のバッテリ残量は、使用環境、充電回数などにより異なる場合があります。

# ソフトウェアをインストールする

動画ファイルや写真ファイルをコンピュータから転送するためには、専用のソフトウェア「HMP Image Transfer Manager」が必要です。また、音楽ファイルをコンピュータから転送するためには付属のソフトウェア「MUSICMATCH Jukebox」が必要です。これらのソフトウェアは、本機に付属のソフトウェアディスクに収録されています。
また、お使いのコンピュータによっては、DirectX のアップデートが必要です。コンピュータの DirectX のバージョンを確認し、必要に応じてアップデートしてください。

## HMP Image Transfer Manager と MUSICMATCH Jukebox をインストールする

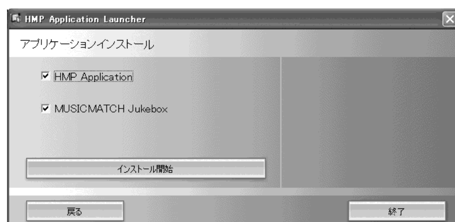
付属のソフトウェアディスクをコンピュータにセットすると、自動的にインストーラが起動します。

ヒント

インストーラが起動しない場合は、ソフトウェアディスク内の「setup.exe」をダブルクリックしてください。

**1** **[ アプリケーションインストール ] をクリックする。**

**2** **インストールするソフトウェアをクリックして選択し、[インストール開始] をクリックする。**




選択したソフトウェアのインストールが順に開始されます。

**3** **表示される内容に従って操作する。**

コンピュータを再起動し、ソフトウェアディスクを取り出してください。

## DirectX のバージョンを確認する

DirectX のバージョンは、次の手順で確認できます。

**1 [スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**

**2 「dxdiag」と入力し、[OK]をクリックする。**
DirectX 診断ツールが起動します。

**3 [システム]タブに表示されている DirectX のバージョンを確認する。**
DirectX のバージョンが 8.0 未満の場合は、アップデートが必要です。次の「DirectX をアップデートする」をご覧ください。

### DirectX をアップデートするには

付属のソフトウェアディスクを使用して次の手順でアップデートしてください。

**ご注意**

旧バージョンの DirectX に上書きすると、旧バージョンの DirectX を使用しているアプリケーションの動作に影響を及ぼすことがありますので、注意してください。

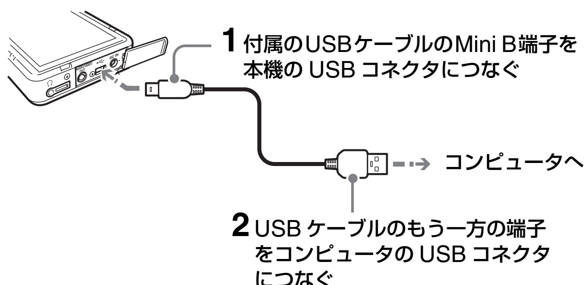
**1 デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックする。**

**2 付属のソフトウェアディスクを入れたドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューの[開く]をクリックする。**

**3 [DirectX9]フォルダをクリック(またはダブルクリック)して開き、[dxsetup.exe]をクリック(またはダブルクリック)する。**

## コンピュータに接続する

本機で再生／表示して楽しむファイルをコンピュータから転送するには、付属の USB ケーブルを使用して、本機をコンピュータに接続してください。




USB ケーブルでコンピュータに接続すると、自動的に本機の電源が入り、データ転送モード（本機を外付けハードディスクとして使用するモード）になります。このモードでは、本機の画面には何も表示されませんがアクセスランプは点灯します。また、本機に AC アダプタを接続していないときは、USB ケーブルを経由して電源が供給されます。

**ご注意**

- コンピュータの USB コネクタと本機を直接接続してください。
- バッテリ残量が少ない場合、本機がコンピュータに認識されないことがあります。このような場合は AC アダプタを接続して使用するか、あらかじめ内蔵バッテリを充電してください。

### 本機の電源が入っているときにコンピュータに接続したときは……

本機の電源が入っていても、コンピュータに接続することはできます。ただし、この場合はコンピュータに接続した時点で本機が自動的にデータ転送モードになります。

### 電源スイッチが「HOLD」の位置のままコンピュータに接続したときは…

USB ケーブル経由で内蔵バッテリの充電が行われます。この場合、Windows 上で本機は［リムーバブルディスク］（ または ）として認識されます。ファイルの転送やハードディスクドライブとしての使用はできません。

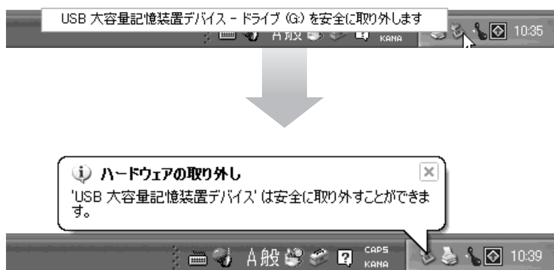
### コンピュータから取りはずすには

本機をコンピュータから取りはずすときは、必ず次のように操作します。

**ご注意**

- 付属のソフトウェアを起動している場合は、ソフトウェアの［取り出し］または［取り外し］ボタンをクリックして取りはずす操作を行ってください。（☞28 ページ、32 ページ）
- 取りはずした直後に再びコンピュータに接続する場合は、取りはずして数秒間（約 10 秒）経ってから接続してください。
- 本機のアクセスランプが緑色に点滅しているとき（ハードディスクが動作中）は、本機をコンピュータから取りはずさないでください。

**1** **タスクバーの[ハードウェアの取り外し]アイコンをクリックし、本機を示すショートカットメニューをクリックする。**




**2** **コンピュータと本機のコネクタから USB ケーブルを取りはずす。**

### 電源と転送速度について

AC アダプタを使用した場合、USB ケーブルを使用して電源を供給している場合に比べて、より短い時間でデータを転送できます。

### USB 2.0 に関するご注意

本機は Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）対応インターフェイスを備えています。本機を USB 2.0 の Hi-Speed モードで使用するためには、接続するコンピュータも USB 2.0 に対応している必要があります（詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください）。USB 2.0 に対応していないコンピュータに接続した場合、本機とのデータ転送は USB 1.1 の転送速度で行われるため、転送により多くの時間がかかります。

## ファイルを転送する

本機に付属の次のソフトウェアを使用して、ファイルを本機に転送します。

- HMP Image Transfer Manager（動画／写真ファイル用）
- MUSICMATCH Jukebox（音楽ファイル用）

**ご注意**

- ファイルを Windows エクスプローラなどで直接本機にコピーしても、本機を単体で使用するときはファイルを再生できません。
- 付属のソフトウェアで本機に転送されたファイルを、コンピュータ側に再び転送（コピー）することはできません。コンピュータ側に保存されているオリジナルのファイルを削除する場合はご注意ください。

### 本機で使用できるファイル形式

#### 対応動画ファイル（HMP Image Transfer Manager）

本機では、主に下記の種類の動画ファイルを再生できます。

| ファイルの種類 | 主なファイル形式 | 転送時の変換 |
| --- | --- | --- |
| ビデオカプセル | Giga Pocket バージョン 5.0 以降で録画し、Giga Pocket エクスプローラ（ビデオエクスプローラ）で管理されているビデオカプセル | なし [1] |
| MPEG | MPEG1 または MPEG2、MPEG4 形式のファイル（拡張子 mpg、mpeg、mp4） | なし [1] |
| AVI（DV） | AVI（DV）（DV に書き出し可能な AVI）形式のファイル、音声部分が MP3 形式のファイル（拡張子 avi） | あり [2] |
| DVR-MS | Windows XP Media Center Edition で録画したビデオファイル（拡張子 dvr-ms） | あり [2] |
| WMV | Windows Media Video 形式のファイル（拡張子 wmv） | あり [2] [3] |

[1] ビットレートや各種のエンコード条件などによっては、転送したファイルが本機で再生できない場合があります。この場合は、ファイル形式を[標準]や[長時間]などに指定してから転送し直してください。

[2] 転送時に MPEG 形式に変換されます。このため、転送が終わるまで時間がかかることがあります。

[3] Windows Media Player 9 がコンピュータにインストールされている必要があります。

ご注意

- ファイルによっては、本機で再生できないことがあります。
- 22 ページの表に記載されていない形式の動画ファイルでも、それぞれの形式に対応する DirectShow 準拠のデコーダがコンピュータにインストールされている場合は、HMP Image Transfer Manager で MPEG 形式に変換して、本機に転送できることがあります。

準備

### 対応写真ファイル(HMP Image Transfer Manager)

本機では、主に下記の種類の写真ファイルを再生できます。

| ファイルの種類 | 主なファイル形式 | 転送時の変換 |
|---|---|---|
| JPEG | JPEG 形式のファイル(拡張子 jpg、jpeg) | なし 1) |
| BMP | BMP 形式のファイル(拡張子 bmp) | あり 2) |
| GIF | GIF 形式のファイル(拡張子 gif) | あり 2) |
| PNG | PNG 形式のファイル(拡張子 png) | あり 2) |
| TIFF | TIFF 形式のファイル(拡張子 tif、tiff) | あり 2) |
| PGPF | PictureGear Pocket Format 形式。CLIE 用 PictureGear Pocket で管理されているファイル | あり 2) |

1) プログレッシブ JPEG 形式のファイルは、通常の JPEG 形式に変換されてから転送されます。
2) 転送時に JPEG 形式に変換されます。このため、転送が終わるまで時間がかかることがあります。

ご注意

- ファイル名に日本語などの2バイト文字が使用されているファイルは転送できません。
- ファイルによっては、本機で表示できないことがあります。

### 対応音楽ファイル(MUSICMATCH Jukebox)

本機では、下記の種類の音楽ファイルを再生できます。

| ファイルの種類 | 主なファイル形式 |
|---|---|
| MP3 | MP3 形式のファイル(拡張子 mp3) |
| WAV | WAV 形式のファイル(拡張子 wav) |

ご注意

ファイルによっては、本機で再生できないことがあります。

## 動画／写真ファイルを転送する

動画ファイルおよび写真ファイルの転送は、次の流れで行います。

**ステップ 1**

**本機をコンピュータに接続する** **☞ このページ**



**ステップ 2**

**HMP Image Transfer Manager を起動する** **☞ このページ**



**ステップ 3**

**動画／写真ファイルを転送リストに登録する** **☞25 ページ**



**ステップ 4**

**転送する** **☞27 ページ**

### 1. 本機をコンピュータに接続する

付属の USB ケーブルで本機をコンピュータに接続します。
詳しくは「コンピュータに接続する」（☞20 ページ）をご覧ください。

### 2. HMP Image Transfer Manager を起動する

[スタート]メニューの[すべてのプログラム]（または[プログラム]）－[Sony HMP Application]－[HMP Image Transfer Manager]をクリックします。
または、デスクトップに作成されている HMP Image Transfer Manager のショートカット（ ）をダブルクリックしても、起動することができます。

HMP Image Transfer Manager が起動し、メイン画面が表示されます。

### 3. 動画／写真ファイルを転送リストに登録する

転送する動画／写真ファイルを、あらかじめ HMP Image Transfer Manager のメイン画面の転送リストに登録します。




ヒント

本機が複数台接続されているときは、[MENU]をクリックし、表示されるメニューの[Player の選択]で本機のドライブ名を選択してください。

**1 転送リストに登録するファイルの種類に応じて、次の操作を行う。**

- 動画ファイルをリストに登録する場合は、［動画転送］タブをクリックします。
- 写真ファイルをリストに登録する場合は、［静止画転送］タブをクリックします。

**2 [ファイル取り込み]をクリックする。**

コンテンツ選択ダイアログが表示されます。

**3 リストに登録するファイルを探す。**

コンテンツ選択ダイアログは、Windows のエクスプローラと同様の操作感で目的の動画／写真ファイルを探すことができます。[エクスプローラ]タブをクリックし、ダイアログ左側のツリー表示で目的のファイルが保存されているドライブやフォルダを選択します。



次のページへ続く

選択した場所に保存されているファイルの一覧が、ダイアログ右側に表示されます。




**ヒント**

ダイアログ左側の［サーバー］タブをクリックすると、VAIO Media の機能を使用して、ネットワークで接続されている別のバイオコンピュータに保存されているファイルを探すことができます。また、動画ファイルをリストに登録する場合は、［録画したビデオ］タブをクリックし、Giga Pocket で録画されたビデオカプセルや、CoCoon（CSV-EX11 またはプレミアムアップグレードを適用した CSV-EX9）に保存されている動画ファイル、Windows XP Media Center Edition で録画した動画ファイルを選択することもできます。［サーバー］タブおよび［録画したビデオ］タブでのファイルの探しかたについては、HMP Image Transfer Manager のヘルプをご覧ください。

**4 ファイルを選択して、転送リストに登録する。**

目的のファイルをクリックして選択し、[決定] ボタンをクリックします。コンテンツ選択ダイアログが閉じ、選択したファイルが転送リストに登録されます。

**ご注意**

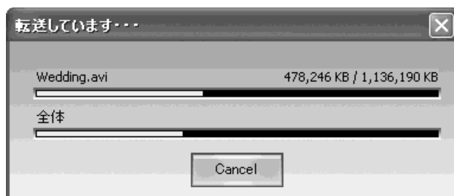
リストに登録した動画ファイルやビデオカプセル、写真ファイルは、転送が完了するまでは保存場所や Giga Pocket エクスプローラ（ビデオエクスプローラ）から削除しないでください。削除した場合は、正常に転送されません。

## 4. 転送する

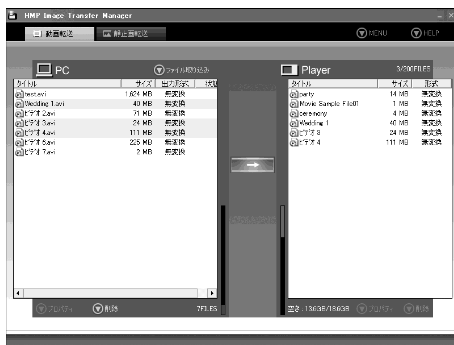
**1** **転送するファイルを選択し、HMP Image Transfer Managerの[転送]ボタンをクリックする。**




選択されたファイルの転送が開始されます。
転送中は、メイン画面上に転送状況が表示されます。転送が完了するまでお待ちください。




転送が終わると、転送されたファイルがメイン画面右側のコンテンツリストの一覧に表示されます。




**ご注意**

ファイルの種類やサイズによっては、転送に時間がかかることがあります。

次のページへ続く

**2　転送が終わったら、本機をコンピュータから取りはずす。**

HMP Image Transfer Managerの[取り外し]ボタンをクリックします。「デバイスは安全に取り外せます」というがメッセージが表示されたら、本機をコンピュータから取りはずすことができます。




### 変換するファイル形式を選んで転送するには

動画ファイルを転送する場合に、本機で再生できる形式に変換する必要があるときは、転送中に自動的にファイル形式が変換されます。本機に内蔵されているハードディスクの空き容量やお好みに応じてファイル形式を設定する場合は、転送リストで転送前のファイルを選択し、[プロパティ]をクリックして変換するファイル形式を設定してください。設定項目について詳しくは、HMP Image Transfer Managerのヘルプをご覧ください。

### 転送後のファイルのプロパティを変更するには

コンテンツリストで転送後のファイルを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックすると、本機のディスプレイに表示されるタイトルや画像の向きなどを変更できます。詳しくは、HMP Image Transfer Managerのヘルプをご覧ください。

### 転送後の動画ファイルを削除するには

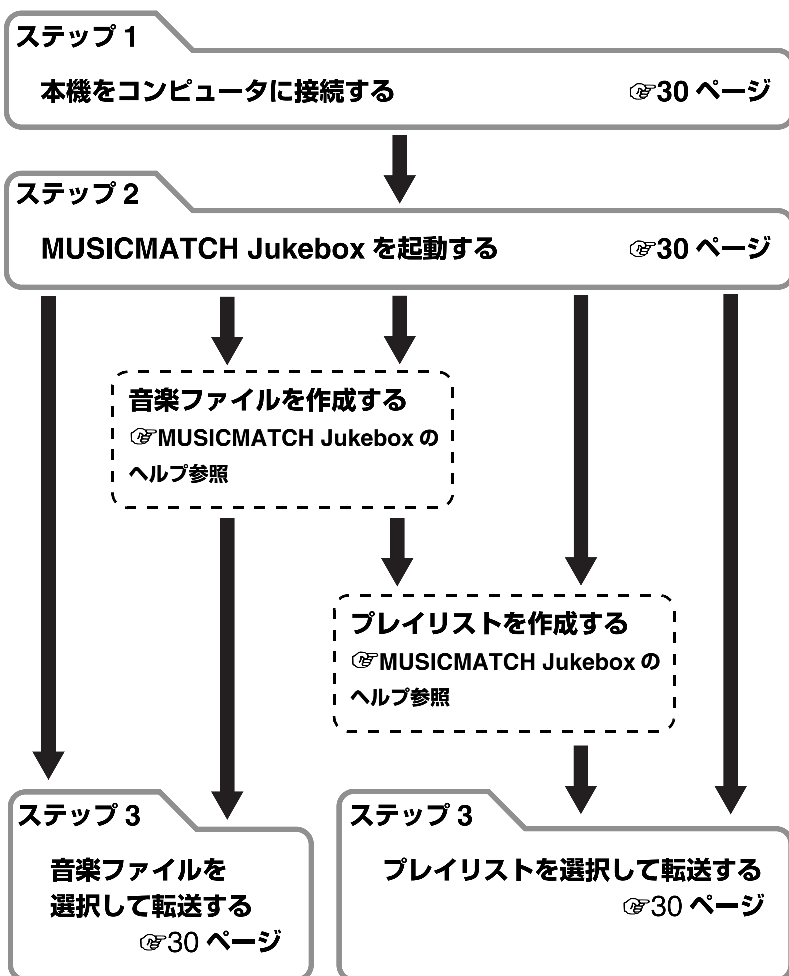
メイン画面右側の[コンテンツリスト]の一覧で、削除する動画ファイルをクリックしてから[削除]ボタンをクリックします。

**ヒント**

- 付属のUSBケーブルで本機をコンピュータに接続しているときは、過去に本機に転送されたファイルのうち、不要になったものをHMP Image Transfer Managerで削除できます。
- 本機で削除マークを付けた動画ファイルを、一括して削除できます。一括して削除するには、[MENU]をクリックし、表示されるメニューの[削除指定ファイルを全て消去]をクリックします。

## 音楽ファイルを転送する

音楽ファイルの転送は、次の流れで行います。




ここでは、MP3 ファイルまたは WAV ファイルなどの音楽ファイルやプレイリストがお使いのコンピュータの中に作成済みの前提で説明します。CD から音楽ファイルを作成する（リッピングする）操作やプレイリストの作成など、MUSICMATCH Jukebox の詳しい操作方法については、MUSICMATCH Jukebox のヘルプを参照してください。

## 1. 本機をコンピュータに接続する

付属の USB ケーブルで本機をコンピュータに接続します。
詳しくは「コンピュータに接続する」（☞20 ページ）をご覧ください。

## 2. MUSICMATCH Jukebox を起動する

［スタート］メニューの［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［MUSICMATCH］－［MUSICMATCH Jukebox］をクリックします。
または、デスクトップに作成されている MUSICMATCH Jukebox のショートカット（ ）をダブルクリックしても、起動することができます。

## 3. 音楽ファイル／プレイリストを選択して転送する

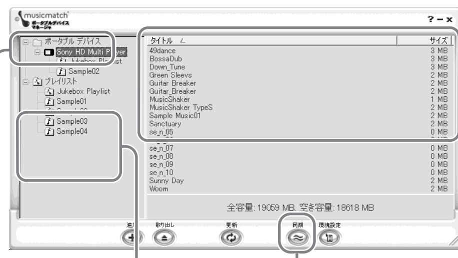
**1** ［MUSIC CENTER］の［コピー］で［ファイル→ポータブル］をクリックし、［現在のプレイリスト］または［マイライブラリ］をクリックする。




クリック

ポータブルデバイスマネージャーが起動します。

**2** **ポータブルデバイスマネージャーのウィンドウ左上に、本機のアイコンが表示されていることを確認する。**




本機またはプレイリストに登録されている曲が表示されます。

本機のアイコン

プレイリスト

本機の内容を、マイライブラリの内容と一致させます。

**3** **転送を行う。**

- **音楽ファイルを選択して転送する**

ポータブルデバイスマネージャーのウィンドウ内に、転送したい音楽ファイルをドラッグ & ドロップします。

**本機のアイコンを選択**




- **プレイリストを選択して転送する**

ポータブルデバイスマネージャーのウィンドウ左側に表示されているプレイリストのアイコンを、本機のアイコンにドラッグ & ドロップします。




次のページへ続く

音楽ファイルの転送が開始されます。転送中はウィンドウ下部に転送状況が表示されます。転送が完了するまでお待ちください。
転送が終わると、転送状況の表示から転送結果の表示に画面が変わります。

**ご注意**

音楽ファイルの種類やサイズによっては、転送に時間がかかることがあります。

**ヒント**

［同期］ボタンをクリックすると、現在マイライブラリに登録されている内容と本機の内容が一致するように本機に音楽ファイルが転送されます。また、このときに、マイライブラリに登録されていない音楽ファイルを本機から削除するかどうかも選択できます。詳しくは MUSICMATCH Jukebox のヘルプをご覧ください。



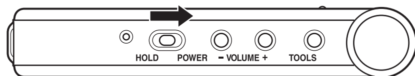

**4 転送が終わったら、本機をコンピュータから取りはずす。**

本機のアイコンを選択してから［取り出し］ボタンをクリックします。本機のアイコンが消えたら、本機をコンピュータから取りはずすことができます。



# 電源を入れる

電源スイッチを「POWER」側に 1 秒以上押し続けます。




アクセスランプが点灯し、起動画面が表示されます。
しばらくすると、タイトルリスト画面が表示されます。

**ご注意**

- 本機を外付けハードディスクとしてコンピュータに接続すると、自動的に電源が入ります。ただし、このとき画面には何も表示されません。
- 電源を入れたまま 3 分間操作しなかった場合は、節電のため自動的に本機の電源が切れます。

## タイトルリスト画面




1 **メニュー表示部**

現在表示されているコンテンツの種類（動画／音楽／写真／設定）が確認できます。

2 **タイトルリスト表示部**

再生できるファイルが一覧で表示されます。

3 **音量、バッテリ残量表示部**

音量とバッテリ残量の情報がアイコンで表示されます。バッテリ残量表示について詳しくは、「充電する」（☞16 ページ）をご覧ください。

4 **ナビゲーション表示部**

表示されている画面で行うことができる代表的な操作がボタンと共に表示されます。

## コンテンツ再生画面




1 **コンテンツアイコン**

再生しているファイルの種類がアイコンで表示されます。

| アイコン | ファイルの種類 |
|---|---|
| Video | 動画ファイル |
| Music | 音楽ファイル |
| Photo | 写真ファイル |

2 **再生状態表示部**

再生しているファイルの動作状態(リピート、シャッフルなど)が表示されます。

3 **再生画面**

再生中のファイルが表示されます。音楽ファイルの再生中は、ここに曲名やアーティスト名、アルバム名などの情報が表示されます。

4 **コンテンツ情報表示部**

再生しているファイル名や再生位置などの情報が表示されます。

# 動画を見る

## 再生する

HMP Image Transfer Manager で転送した動画ファイルを再生するときは、次のように操作します。

ご注意

動画ファイルの再生中は、むやみに本機に衝撃を与えないでください。衝撃を与えると再生中の映像が途切れることがあります。

**1 付属のヘッドホンを接続したリモコンを、ヘッドホンコネクタに差し込む。**

ご注意

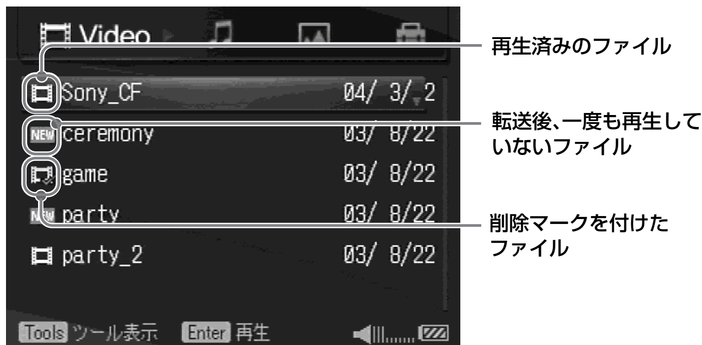
- 本機にはスピーカーが内蔵されていません。音声を聞くには、ヘッドホンを取り付けてください。
- ヘッドホンは、AV OUT コネクタには接続しないでください。AV OUT コネクタに接続すると、ヘッドホンからノイズが聞こえ、正常に音声を聞くことができません。

**2 本機の電源を入れる。**

詳しくは、「電源を入れる」(☞33 ページ)をご覧ください。

**3 [←][→]に触れて、[Video]タブを選択する。**

**4 [↑][↓]に触れて、見たい動画ファイルを選択して[ENTER]に触れる。**




動画ファイルが再生されます。

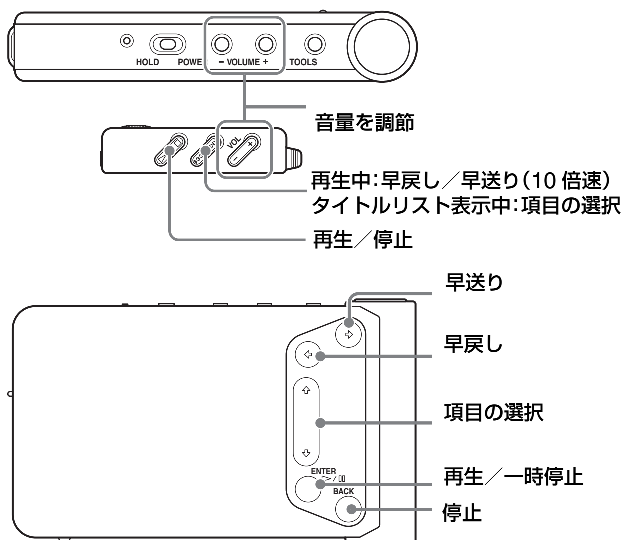
次のページへ続く

ヒント

前回途中まで再生した動画ファイルを選択した場合は、続きから再生するかどうかを確認する画面が表示されます。
［⇧］［⇩］に触れて「続きから再生する」、「始めから再生する」から選択し、［ENTER］に触れて再生を開始してください。
前回最後に再生した動画ファイルと再生位置の情報は、本機の電源を切っても残ります。

**5** **再生の基本操作を行う。**

再生中の動画は、本機のボタンや操作パネル、リモコンを使用して次のように操作できます。




## 音量を調節するには

本機上面の「＋」ボタンを押すと音量が大きくなり、「－」ボタンを押すと音量が小さくなります。
リモコンの「＋」「－」ボタンでも同じ操作ができます。

## 一時停止するには

再生中に［ENTER］に触れます。もう一度［ENTER］に触れると、通常再生に戻ります。

### 早送り再生するには

再生中に［➡］に触れます。［➡］に繰り返し触れると、タッチした回数に応じて早送り再生の速度が2倍→10倍→30倍→120倍の順で切り換わります。［ENTER］に触れると、通常再生に戻ります。

### 早戻し再生するには

再生中に［⬅］に触れます。［⬅］に繰り返し触れると、タッチした回数に応じて早戻し再生の速度が2倍→10倍→30倍→120倍の順で切り換わります。［ENTER］に触れると、通常再生に戻ります。

### スロー再生するには

一時停止中に［➡］に触れると、順方向のスロー再生が開始されます。［ENTER］に触れると、一時停止に戻ります。

### 一定時間スキップするには（CM スキップ）

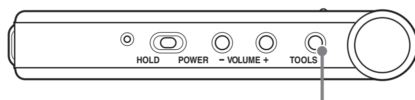
再生中に［⬆］または［⬇］に触れます。［⬆］または［⬇］に1回触れるごとに約15秒間の動画が早送り再生されます。［⬆］または［⬇］に繰り返し触れると、タッチした回数に応じて約15秒ずつ早送り再生されます。

### 再生をやめる（停止する）には

再生中または一時停止中に［BACK］に触れます。

## ツールメニューでさまざまな操作や設定を行う

本機上面のTOOLSボタンを押して表示されるツールメニューで、さまざまな再生やビデオ機能の設定を行うことができます。




TOOLSボタン

ヒント

ツールメニューによる設定や操作を途中で中止するときは、もう一度TOOLSボタンを押すか、［BACK］に触れて、ツールメニューの表示を消してください。

## 停止中にできる操作

動画ファイルの再生停止中に、ツールメニューで以下の操作を行うことができます。

### ファイルの並び順を変える

タイトルリスト画面で、名前順または録画時間順によってファイルの順番（昇順または降順）を変えることができます。

**1 タイトルリスト画面の表示中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓] に触れて [ソート] を選択し、[ENTER] に触れる。**

ソートのサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓] に触れて表示したい順番を選択し、[ENTER] に触れる。**




並び順が変わります。

**ヒント**

「時間 昇順」および「時間 降順」の「時間」は、動画ファイルが録画または作成された日時を指しています。

### 削除マークを付ける

不要な動画ファイルに「削除マーク」を付けておき、本機をコンピュータにつなげたときに HMP Image Transfer Manager でまとめて削除することができます。

**ヒント**

削除マークを付けただけでは、動画ファイルは削除されません。HMP Image Transfer Manager で削除する必要があります。

**1 タイトルリスト画面の表示中に[⬆][⬇]に触れて、削除マークを付ける動画ファイルを選択する。**

**2 TOOLS ボタンを押す。**
ツールメニューが表示されます。

**3 [⬆][⬇]に触れて[削除マーク]を選択し、[ENTER]に触れる。**
削除マーク設定のサブメニューが表示されます。

**4 [⬆][⬇]に触れて「つける」を選択し、[ENTER]に触れる。**




動画ファイル名の先頭に削除マーク( )が付きます。
削除マークをはずすときは、この手順 4 で「はずす」を選択し、[ENTER]に触れてください。

## 画質を調節する

ディスプレイの表示画質を調節できます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のディスプレイに表示されるすべての内容に対して同じ設定が反映されます。

**1 タイトルリスト画面の表示中に、TOOLS ボタンを押す。**
ツールメニューが表示されます。



次のページへ続く

**2** [↑] [↓]に触れて「画質」を選択し、[ENTER]に触れる。




設定値を変更する画面が表示されます。

**3** [↑] [↓]に触れて設定したい項目を選択し、[←] [→]に触れて設定値を調節する。




| 設定項目 | 設定内容と設定値 |
|---|---|
| コントラスト | ディスプレイ表示の色の濃淡差を設定します。「＋」側に設定するほど濃淡の差が強くなり、「－」側に設定するほど濃淡の差が弱くなります。 |
| 明るさ | ディスプレイ表示の明るさを設定します。「＋」側に設定するほど明るくなり、「－」側に設定するほど暗くなります。 |
| バックライト | ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。「＋」側に設定するほど明るくなり、「－」側に設定するほど暗くなります。バックライトを暗く設定すると、内蔵バッテリでの動作時間をより長くすることができます。 |

**4** [ENTER]に触れて、設定の変更を確定する。

## 再生中にできる操作

動画ファイルの再生中または一時停止中に、ツールメニューで以下の操作を行うことができます。

### 音声を切り換える

音声多重放送を録画したファイルを再生している場合、お好みに応じて音声を切り換えることができます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のビデオ機能で再生されるすべてのファイルに対して同じ設定が反映されます。



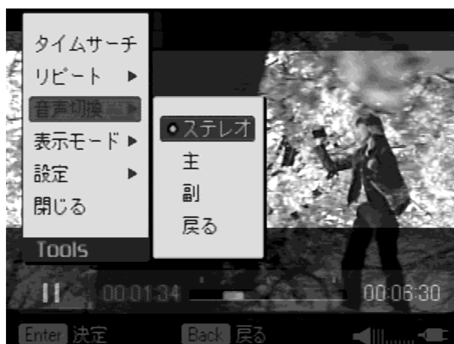
**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓] に触れて「音声切換」を選択し、[ENTER] に触れる。**

音声切換のサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓] に触れて音声の組み合わせを「ステレオ」、「主」、「副」から選択し、[ENTER] に触れる。**




音声が切り換わります。

**ヒント**

各項目を選択したときに再生される音声は、次のとおりです。

| 項目 | 二ヶ国語放送 | ステレオ放送 |
|---|---|---|
| ステレオ | 左から主音声、右から副音声 | ステレオ |
| 主 | 主音声 | L チャンネル音声 |
| 副 | 副音声 | R チャンネル音声 |

### 表示モードを切り換える

映像を横方向に圧縮したスクイーズ方式（☞87 ページ）で作成された動画ファイルを再生するときに、映像が縦長に見えるままで再生する（標準）か、上下に黒い帯を表示して画面の横幅に合わせた映像で再生する（ワイド）かを指定できます。

標準



ワイド



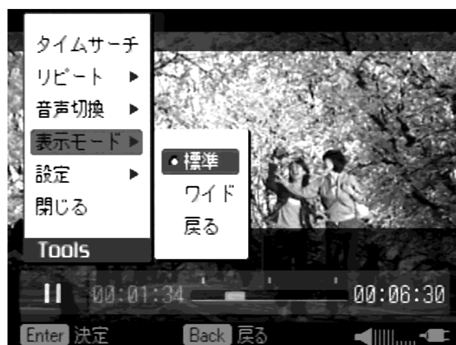
**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑][↓]に触れて「表示モード」を選択し、[ENTER]に触れる。**

画面サイズのサブメニューが表示されます。

**3 [↑][↓]に触れて「標準」、「ワイド」から選択し、[ENTER]に触れる。**




設定の変更が確定します。

### 繰り返し再生する（リピート再生）

再生中の動画ファイルが最後まで再生されたら、また先頭から繰り返して再生されるように設定できます。

**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑][↓]に触れて「リピート」を選択し、[ENTER]に触れる。**

リピート設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑][↓]に触れて「オン」を選択し、[ENTER]に触れる。**




リピート再生が有効になります。
リピート再生を解除するときは、この手順 3 で「オフ」を選択し、[ENTER]に触れてください。

## 再生を始める箇所を指定する(タイムサーチ)

再生経過時間を指定して、見たい場面を探すことができます。

**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑][↓]に触れて「タイムサーチ」を選び、[ENTER]に触れる。**




再生経過時間を入力する画面が表示されます。

動画を見る

次のページへ続く

**3 経過時間を指定する。**




[🡅] [🡇] に触れて経過時間を指定し、[🡄] [🡆] に触れて時間の位(時、分)を切り換えることができます。

ヒント

経過時間は、およその目安としてご利用ください。特に、MPEG4 形式のファイルは、実際の経過時間よりずれが大きくなることがあります。

**4 [ENTER] に触れる。**

手順 3 で入力した再生経過時間の場面から再生が開始されます。

### 音質を調節する

再生する動画ファイルの音質を調節できます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のビデオ機能で再生されるすべてのファイルに対して同じ設定が反映されます。

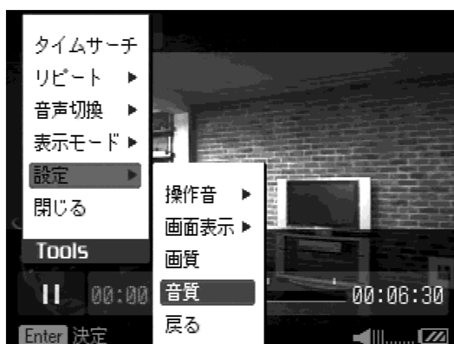
**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [🡅] [🡇] に触れて「設定」を選択し、[ENTER] に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3** [▲] [▼] に触れて「音質」を選択し、[ENTER] に触れる。




設定値を変更する画面が表示されます。

**4** [▲] [▼] に触れて設定したい項目を選択し、[◀] [▶] に触れて設定値を調節する。




| 設定項目 | 設定内容と設定値 |
|---|---|
| 高音 | 高音の強弱を設定します。設定値を「＋」側に設定するほど高音が強調され、「－」側に設定するほど高音が弱められます。 |
| 低音 | 低音の強弱を設定します。設定値を「＋」側に設定するほど低音が強調され、「－」側に設定するほど低音が弱められます。 |

**5** [ENTER] に触れて、設定の変更を確定する。

### 画質を調節する

ディスプレイの表示画質を調節できます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のディスプレイに表示されるすべての内容に対して同じ設定が反映されます。

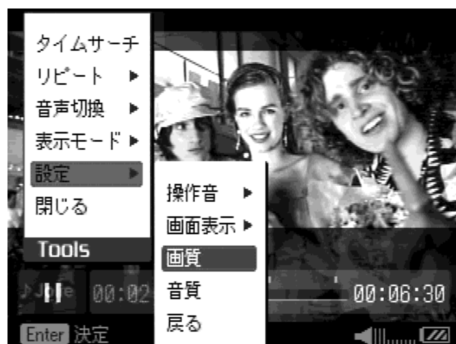
**1 タイトルリスト画面の表示中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓] に触れて「設定」を選択し、[ENTER] に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓] に触れて「画質」を選択し、[ENTER] に触れる。**




設定値を変更する画面が表示されます。

**4 [↑] [↓] に触れて設定したい項目を選択し、[←] [→] に触れて設定値を調節する。**




ヒント

設定内容は、停止中に行う画質調整と同じです（☞39 ページ）。

**5 [ENTER]に触れて、設定の変更を確定する。**

### 操作音を設定する

本機のボタンを押したり触れたときや、リモコンを操作したときに、操作音を鳴らすかどうか設定できます。

**ヒント**

[Setup] タブの「操作音」でも同じ設定を行うことができます。詳しくは「設定する」（☞71 ページ）をご覧ください。

**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓] に触れて「設定」を選択し、[ENTER] に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓] に触れて「操作音」を選択し、[ENTER] に触れる。**

操作音設定のサブメニューが表示されます。

**4 [↑] [↓] に触れて「オン」（操作音を鳴らす）、「オフ」（操作音を鳴らさない）から選択し、[ENTER] に触れる。**




設定の変更が確定します。

### 画面表示を設定する

本機のボタンを押したり触れて操作を行ったとき、一定時間経過後にファイル名などの情報表示を消すように設定できます。

ヒント

［Setup］タブの「画面表示」でも同じ設定を行うことができます。詳しくは「設定する」（☞71 ページ）をご覧ください。

**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓] に触れて「設定」を選択し、[ENTER] に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓] に触れて「画面表示」を選択し、[ENTER] に触れる。**

画面表示設定のサブメニューが表示されます。

**4 [↑] [↓] に触れて「自動オフ」（一定時間経過後に非表示）、「常時表示」（常に表示）、「オフ」（常に非表示）から選択し、[ENTER] に触れる。**




設定の変更が確定します。

# 音楽を聴く

## 再生する

MUSICMATCH Jukebox で転送した音楽ファイルを再生するときは、次のように操作します。

ご注意

音楽ファイルの再生中は、むやみに本機に衝撃を与えないでください。衝撃を与えると再生中の音楽が途切れることがあります。

**1 付属のヘッドホンを接続したリモコンを、ヘッドホンコネクタに差し込む。**

**2 本機の電源を入れる。**

詳しくは、「電源を入れる」（☞33 ページ）をご覧ください。

**3 [←][→]に触れて、[Music]タブを選択する。**

**4 [↑][↓]に触れて、音楽ファイルのソート順を選択して[ENTER]に触れる。**




音楽ファイルのリストが、選択したソート順に表示されます。

**ヒント**

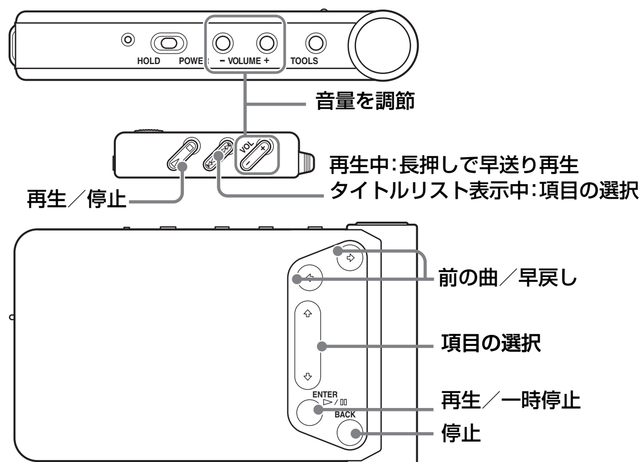
MP3 形式の音楽ファイルには、アルバム名やアーティスト名などの情報が「ID タグ」として保存されています。本機ではこの ID タグの情報を参照し、アルバム名やアーティスト名ごとに音楽ファイルが自動的にソートされるので、本機に大量の音楽ファイルを保存していても聴きたい曲を探しやすくなっています。
なお、WAV 形式の音楽ファイルを聴く場合は、ID タグ情報でファイルがソートされません。［⬆］［⬇］で「タイトル」を選択して［ENTER］に触れ、表示されるリストで音楽ファイルを選択してください。

**5** **［⬆］［⬇］に触れて、聴きたい音楽ファイルを選択して［ENTER］に触れる。**




**6** **再生の基本操作を行う。**

再生中の音楽は、本機のボタンや操作パネル、リモコンを使用して次のように操作できます。



ヒント

- 本機の電源が切れているときにリモコンの「►」ボタンを押すと、本機の電源が入り、音楽ファイルの再生が始まります。この場合は、本機の電源を切る前に選択されていた音楽ファイルから再生が始まります。再生の途中で電源が切られていたり停止していた場合は、その停止位置から再生が始まります。
- タイトルリスト表示の場合、リモコンの「I◄◄」「►►I」ボタンで操作パネルの［⬆］［⬇］と同じ操作を行うことができます。

### 音量を調節するには

本機上面の「＋」ボタンを押すと音量が大きくなり、「－」ボタンを押すと音量が小さくなります。
リモコンの「＋」「－」ボタンでも同じ操作ができます。

### 一時停止するには

再生中に［ENTER］に触れます。もう一度［ENTER］に触れると、通常再生に戻ります。

### 聴いている曲の頭から再生するには（頭出し）

［⬅］に 1 回触れます。
リモコンの「I◄◄」ボタンでも同じ操作ができます。

### 前の曲／次の曲を聴くには

前の曲を聴くには［⬅］に続けて 2 回触れます。次の曲を聴くには［➡］に触れます。
リモコンの「I◄◄」「►►I」ボタンでも同じ操作ができます。

### 早送り再生するには

再生中に［➡］に触れ続けます。10 倍の速度で早送り再生されます。
［➡］から指を離すと、通常再生に戻ります。
リモコンの「►►I」ボタンでも同じ操作ができます。

### 早戻し再生するには

再生中に［⬅］に触れ続けます。10 倍の速度で早戻し再生されます。
［⬅］から指を離すと、通常再生に戻ります。
リモコンの「I◄◄」ボタンでも同じ操作ができます。



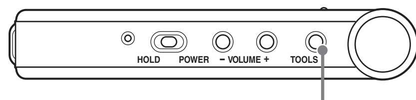
次のページへ続く

### 再生をやめる（停止する）には

再生中または一時停止中に［BACK］に触れます。
リモコンの「■」ボタンでも同じ操作ができます。

## ツールメニューでさまざまな操作や設定を行う

本機上面の TOOLS ボタンを押して表示されるツールメニューで、さまざまな再生やミュージック機能の設定を行うことができます。




TOOLS ボタン

ヒント

ツールメニューによる設定や操作を途中で中止するときは、もう一度 TOOLS ボタンを押すか、［BACK］に触れて、ツールメニューの表示を消してください。

### 停止中にできる操作

音楽ファイルの再生停止中に、ツールメニューで以下の操作を行うことができます。

#### 画質を調節する

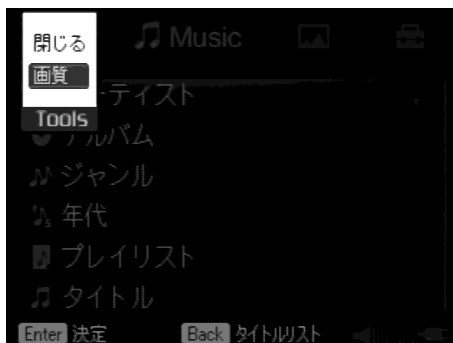
ディスプレイの表示画質を調節できます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のディスプレイに表示されるすべての内容に対して同じ設定が反映されます。

**1 タイトルリスト画面の表示中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [▲][▼]に触れて「画質」を選択し、[ENTER]に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。




設定値を変更する画面が表示されます。

**3 [▲][▼]に触れて設定したい項目を選択し、[◀][▶]に触れて設定値を調節する。**




| 設定項目 | 設定内容と設定値 |
|---|---|
| コントラスト | ディスプレイ表示の色の濃淡差を設定します。「＋」側に設定するほど濃淡の差が強くなり、「－」側に設定するほど濃淡の差が弱くなります。 |
| 明るさ | ディスプレイ表示の明るさを設定します。「＋」側に設定するほど明るくなり、「－」側に設定するほど暗くなります。 |
| バックライト | ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。「＋」側に設定するほど明るくなり、「－」側に設定するほど暗くなります。バックライトを暗く設定すると、内蔵バッテリでの動作時間をより長くすることができます。 |

**4 [ENTER]に触れて、設定の変更を確定する。**

## 再生中にできる操作

音楽ファイルの再生中または一時停止中に、ツールメニューで以下の操作を行うことができます。

### 再生モードを切り換える

再生中の曲だけを聴いたり、再生中の曲が含まれるプレイリスト内の曲をすべて再生するように設定できます。

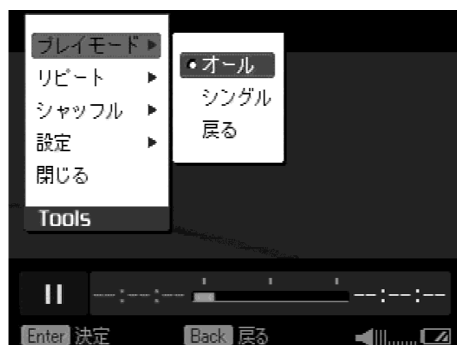
**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑][↓]に触れて「プレイモード」を選択し、[ENTER]に触れる。**

プレーモード設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑][↓]に触れて再生モードを「オール」、「シングル」から選択し、[ENTER]に触れる。**




- 「オール」を選択したときは、タイトルリストに表示された音楽ファイルすべてが順に再生されます。
- 「シングル」を選択したときは、再生中の曲が最後まで再生されたあとタイトルリスト画面に戻ります。

### 繰り返し再生する(リピート再生)

再生中の音楽ファイルが最後まで再生されたら、また先頭から繰り返して再生されるように設定できます。

**ヒント**

「シャッフル再生」などの再生モードと組み合わせて使用できます。

**1** **再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**
ツールメニューが表示されます。

**2** **[↑] [↓] に触れて「リピート」を選択し、[ENTER] に触れる。**
リピート設定のサブメニューが表示されます。

**3** **[↑] [↓] に触れて「オン」を選択し、[ENTER] に触れる。**




リピート再生が有効になります。
リピート再生を解除するときは、この手順 3 で「オフ」を選択し、[ENTER] に触れてください。

### 順不同に再生する（シャッフル再生）

タイトルリストに表示された音楽ファイルを順不同に再生することができます。

**1** **再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**
ツールメニューが表示されます。

**2** **[↑] [↓] に触れて「シャッフル」を選び、[ENTER] に触れる。**
シャッフル設定のサブメニューが表示されます。



次のページへ続く

**3 [↑] [↓]に触れて「オン」を選択し、[ENTER]に触れる。**




シャッフル再生が有効になります。
シャッフル再生を解除するときは、この手順 3 で「オフ」を選択し、[ENTER]に触れてください。

## 音質を調節する

再生する音楽ファイルの音質を調節できます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のミュージック機能で再生されるすべてのファイルに対して同じ設定が反映されます。

**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**
ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓]に触れて「設定」を選択し、[ENTER]に触れる。**
設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓]に触れて「音質」を選択し、[ENTER]に触れる。**




設定値を変更する画面が表示されます。

**4 [↑] [↓]に触れて設定したい項目を選択し、[←] [→]に触れて設定値を調節する。**




| 設定項目 | 設定内容と設定値 |
|---|---|
| 高音 | 高音の強弱を設定します。設定値を「＋」側に設定するほど高音が強調され、「－」側に設定するほど高音が弱められます。 |
| 低音 | 低音の強弱を設定します。設定値を「＋」側に設定するほど低音が強調され、「－」側に設定するほど低音が弱められます。 |

**5 [ENTER]に触れて、設定の変更を確定する。**

### 操作音を設定する

本機のボタンを押したり触れたときや、リモコンを操作したときに、操作音を鳴らすかどうか設定できます。

**ヒント**

［Setup］タブの「操作音」でも同じ設定を行うことができます。詳しくは「設定する」（☞71 ページ）をご覧ください。

**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓]に触れて「設定」を選択し、[ENTER]に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓]に触れて「操作音」を選択し、[ENTER]に触れる。**

操作音設定のサブメニューが表示されます。



次のページへ続く

**4 [↑] [↓] に触れて「オン」(操作音を鳴らす)、「オフ」(操作音を鳴らさない)から選択し、[ENTER] に触れる。**




設定の変更が確定します。

### 画面表示を設定する

本機のボタンを押したり触れて操作を行ったとき、一定時間経過後にファイル名などの情報表示を消すように設定できます。

**ヒント**

[Setup] タブの「画面表示」でも同じ設定を行うことができます。詳しくは「設定する」(☞71 ページ)をご覧ください。

**1 再生中または一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓] に触れて「設定」を選択し、[ENTER] に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3 [↑] [↓] に触れて「画面表示」を選択し、[ENTER] に触れる。**

画面表示設定のサブメニューが表示されます。

**4** [⬆] [⬇] に触れて「自動オフ」または「オフ」(どちらも、一定時間経過後に非表示)、「常時表示」(常に表示)から選択し、[ENTER] に触れる。




設定の変更が確定します。

ヒント

音楽を聞いているときは、画面表示を常に非表示にすることはできません。画面表示設定のサブメニューの「オフ」は、「自動オフ」と同じ機能(一定時間経過後に非表示)になります。

# 写真を見る

## 表示する

HMP Image Transfer Manager で転送した写真ファイルを表示するときは、次のように操作します。

**1 本機の電源を入れる。**

詳しくは、「電源を入れる」（☞33 ページ）をご覧ください。

**2 [←] [→] に触れて、[Photo] タブを選択する。**

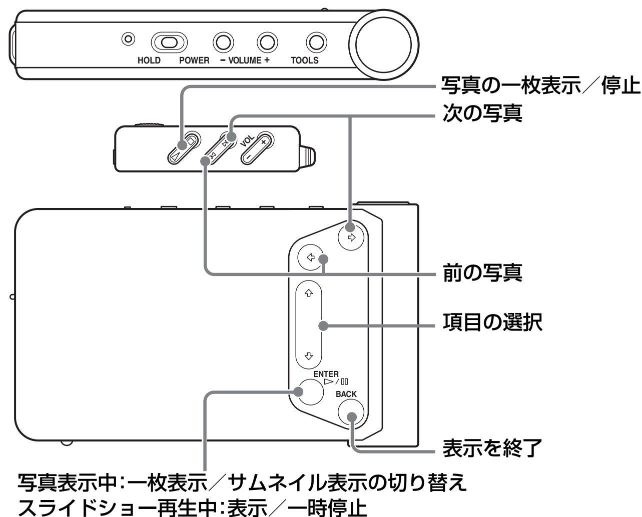
**3 [↑] [↓] に触れて、見たい写真ファイルを選択して [ENTER] に触れる。**




写真ファイルが表示されます。

## 4 表示の基本操作を行う。

表示中の静止画は、本機の操作パネルを使用して次のように操作できます。




### 次の写真を表示するには

写真ファイルの表示中に［➡］に触れてください。

### 前の写真を表示するには

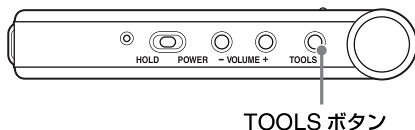
写真ファイルの表示中に［⬅］に触れてください。

### 表示をやめる（停止する）には

写真ファイルの表示中に［BACK］に触れてください。

# ツールメニューでさまざまな操作や設定を行う

本機上面の TOOLS ボタンを押して表示されるツールメニューで、さまざまな表示やフォト機能の設定を行うことができます。



TOOLS ボタン

ヒント

ツールメニューによる設定や操作を途中で中止するときは、もう一度 TOOLS ボタンを押すか、[BACK] に触れて、ツールメニューの表示を消してください。

## 停止中にできる操作

写真ファイルの表示中に、ツールメニューで以下の操作を行うことができます。

### ファイルの並び順を変える

タイトルリスト画面で、名前順または撮影(作成)日時順によってファイルの順番(昇順または降順)を変えることができます。

**1 タイトルリスト画面の表示中に、TOOLS ボタンを押す。**
ツールメニューが表示されます。

**2 [↑] [↓] に触れて [ソート] を選択し、[ENTER] に触れる。**
ソートのサブメニューが表示されます。

## 3 [↑] [↓]に触れて表示したい順番を選択し、[ENTER]に触れる。




並び順が変わります。

**ヒント**

「時間 昇順」および「時間 降順」の「時間」は、写真ファイルが撮影または作成された日時を指しています。

### 画質を調節する

ディスプレイの表示画質を調節できます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のディスプレイに表示されるすべての内容に対して同じ設定が反映されます。

## 1 タイトルリスト画面の表示中に、TOOLS ボタンを押す。

ツールメニューが表示されます。

## 2 [↑] [↓]に触れて「画質」を選択し、[ENTER]に触れる。

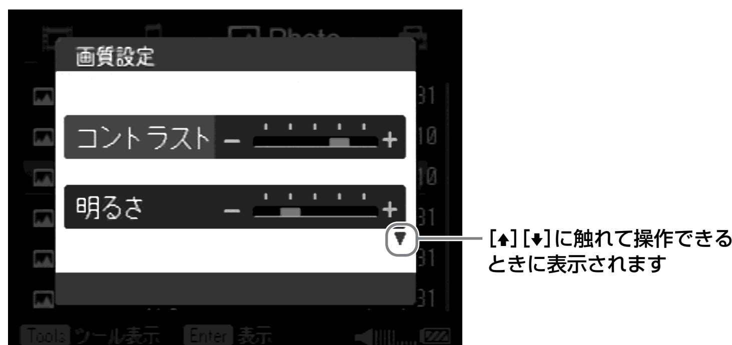



設定値を変更する画面が表示されます。



次のページへ続く

**3** [↑] [↓] に触れて設定したい項目を選択し、[←] [→] に触れて設定値を調節する。




| 設定項目 | 設定内容と設定値 |
|---|---|
| コントラスト | ディスプレイ表示の色の濃淡差を設定します。「＋」側に設定するほど濃淡の差が強くなり、「−」側に設定するほど濃淡の差が弱くなります。 |
| 明るさ | ディスプレイ表示の明るさを設定します。「＋」側に設定するほど明るくなり、「−」側に設定するほど暗くなります。 |
| バックライト | ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。「＋」側に設定するほど明るくなり、「−」側に設定するほど暗くなります。バックライトを暗く設定すると、内蔵バッテリでの動作時間をより長くすることができます。 |

**4** [ENTER] に触れて、設定の変更を確定する。

## 表示中にできる操作

写真ファイルの表示中に、ツールメニューで以下の操作を行うことができます。

### 表示モードを切り換える

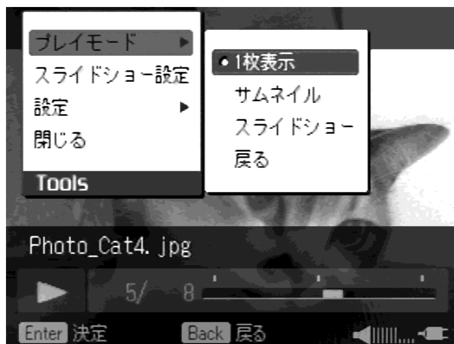
任意の写真ファイルを画面全体に表示したり、複数の写真ファイルを一覧表示するなど、ディスプレイに表示するときのモードを切り換えることができます。

**1** 表示中またはスライドショーの一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。
ツールメニューが表示されます。

**2** **[⬆][⬇]に触れて「プレイモード」を選択し、[ENTER]に触れる。**

プレーモード設定のサブメニューが表示されます。

**3** **[⬆][⬇]に触れて目的の表示モードを選択し、[ENTER]に触れる。**




- [1 枚表示] を選択したときは、現在表示中の写真ファイルが表示され続けます。
- [サムネイル] を選択したときは、5 枚分の写真ファイルが画面上部に一覧で表示され、その中で選択されている 1 枚が拡大表示されます。




ヒント

- ディスプレイ上部に表示されている写真ファイルの一覧は、[⬅] [➡] に触れてページを送ることができます。
- [ENTER] に触れることで、一枚表示とサムネイル表示を切り替えることができます。

- [スライドショー] を選択したときは、すべての写真ファイルが、一定の時間間隔で順に表示されます。お好みに応じて、時間間隔などの設定を変更することもできます。詳しくは、この後の「スライドショーの設定を変更する」(☞ このページ) をご覧ください。

### スライドショーの設定を変更する

写真ファイルをスライドショーの機能で表示するときの設定を、お好みに応じて変更できます。

**1** **表示中またはスライドショーの一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

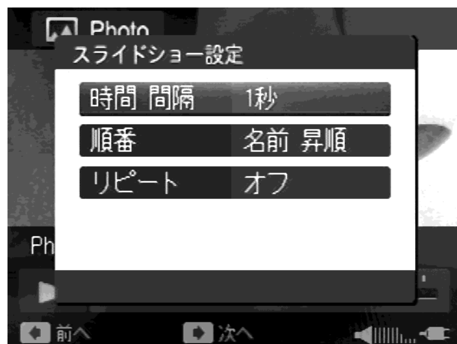
ツールメニューが表示されます。

**2** **[⬆] [⬇] に触れて「スライドショー設定」を選択し、[ENTER] に触れる。**




スライドショーの設定を変更する画面が表示されます。

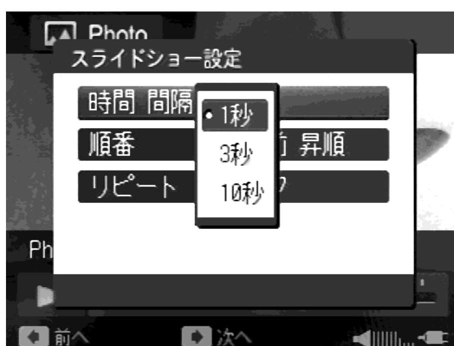
**3** **[⬆] [⬇] に触れて設定したい項目を選択し、[ENTER] に触れる。**




設定値を変更するサブメニューが表示されます。

| 設定項目 | 設定内容と設定値 |
|---|---|
| 時間 間隔 | 写真ファイルが表示されてから、別の写真ファイルが表示されるまでの時間を「1 秒」、「3 秒」、「10 秒」から選択します。<br>ファイルの大きさによっては、設定した時間よりも間隔が長くなることがあります。 |
| 順番 | 写真ファイルが表示される順番を「名前 昇順」、「名前 降順」、「時間* 昇順」、「時間* 降順」、「シャッフル(順不同)」から選択します。<br>*「時間」は、写真ファイルが撮影または作成された日時を指しています。 |
| リピート | スライドショーですべての写真ファイルが表示された後、再び最初の写真ファイルからスライドショーを繰り返すかどうかを「オン」(繰り返す)、「オフ」(繰り返さない)で選択します。 |

**4** **[▲] [▼] に触れて設定値を調節し、[ENTER] に触れる。**




設定の変更が確定します。

**5** **設定が終わったら [Back] に触れて、設定を変更する画面の表示を消す。**

**ヒント**

スライドショーの設定の[順番]の設定値は、タイトルリストの[ソート]による設定とは別に保存されます。

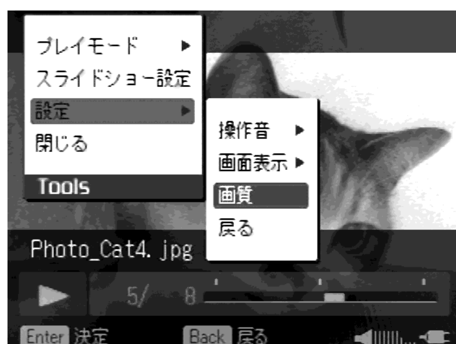
### 画質を調節する

ディスプレイの表示画質を調節できます。ここで調節した設定値は本機に保存され、本機のディスプレイに表示されるすべての内容に対して同じ設定が反映されます。

**1** **表示中またはスライドショーの一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**
ツールメニューが表示されます。

**2** **[⬆] [⬇] に触れて「設定」を選択し、[ENTER] に触れる。**
設定のサブメニューが表示されます。

**3** **[⬆] [⬇] に触れて「画質」を選択し、[ENTER] に触れる。**




設定値を変更する画面が表示されます。

**4** **[⬆] [⬇] に触れて設定したい項目を選択し、[⬅] [➡] に触れて設定値を調節する。**



ヒント

設定内容は、停止中に行う画質調整と同じです（☞63 ページ）。

**5** **［ENTER］に触れて、設定の変更を確定する。**

### 操作音を設定する

本機のボタンを押したり触れたときや、リモコンを操作したときに、操作音を鳴らすかどうか設定できます。

ヒント

［Setup］タブの「操作音」でも同じ設定を行うことができます。詳しくは「設定する」（☞71 ページ）をご覧ください。

**1** **表示中またはスライドショーの一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

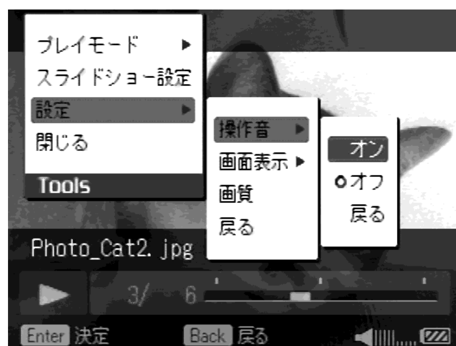
**2** **［↑］［↓］に触れて「設定」を選択し、［ENTER］に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3** **［↑］［↓］に触れて「操作音」を選択し、［ENTER］に触れる。**

操作音設定のサブメニューが表示されます。

**4** **［↑］［↓］に触れて「オン」（操作音を鳴らす）、「オフ」（操作音を鳴らさない）から選択し、［ENTER］に触れる。**




設定の変更が確定します。

写真を見る

### 画面表示を設定する

本機のボタンを押したり触れて操作を行ったとき、一定時間経過後にファイル名などの情報表示を消すように設定できます。

ヒント

［Setup］タブの「画面表示」でも同じ設定を行うことができます。詳しくは「設定する」（☞71 ページ）をご覧ください。

**1** **表示中またはスライドショーの一時停止中に、TOOLS ボタンを押す。**

ツールメニューが表示されます。

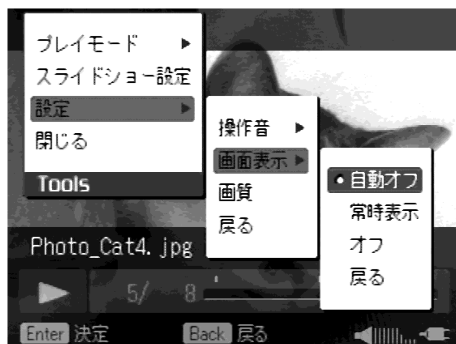
**2** **［⬆］［⬇］に触れて「設定」を選択し、［ENTER］に触れる。**

設定のサブメニューが表示されます。

**3** **［⬆］［⬇］に触れて「画面表示」を選択し、［ENTER］に触れる。**

画面表示設定のサブメニューが表示されます。

**4** **［⬆］［⬇］に触れて「自動オフ」（一定時間経過後に非表示）、「常時表示」（常に表示）、「オフ」（常に非表示）から選択し、［ENTER］に触れる。**




設定の変更が確定します。

# 設定する

本機の表示や動作に関する設定を行うことができます。

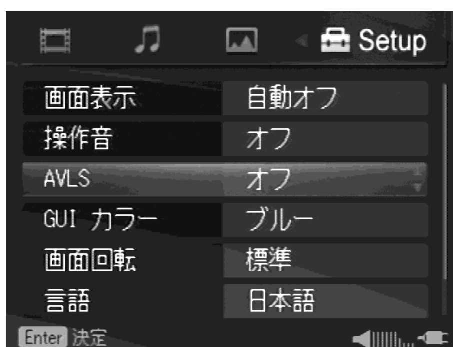
ヒント

設定を途中で中止するときは、[BACK] に繰り返しタッチし、設定項目のサブメニューの表示を消してください。

**1 [←][→]に触れて、[Setup]タブを選択する。**

設定項目のリストが表示されます。

**2 [↑][↓]に触れて設定項目を選択し、[ENTER]に触れる。**




選択した設定項目のサブメニューが表示され、設定可能な状態になります。

**3 [↑][↓]に触れて設定値を選択し、[ENTER]に触れる。**




設定の変更が確定します。

## 設定項目と設定値

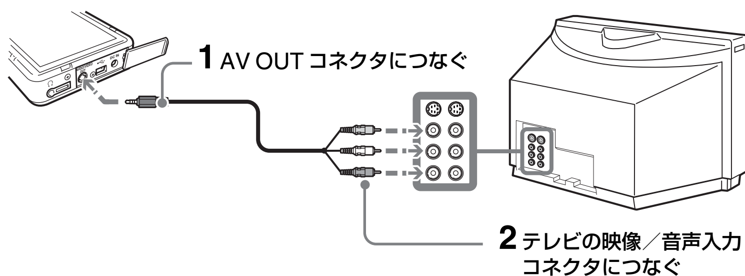
| 設定項目 | 設定内容と設定値 |
|---|---|
| 画面表示 | ファイルの再生中、ディスプレイにファイル名の情報などを常に表示しておく(常時表示)か、一定時間経過後に表示が消えるようにしておく(自動オフ)か、常に表示しない(オフ)かを選択します。 |
| 操作音 | 本機のボタンを押したりタッチしたときや、リモコンを操作したときに、操作音を鳴らすかどうか設定します。効果音を鳴らすときは「オン」を選択し、無効にするときは「オフ」を選択してください。 |
| AVLS | 「オン」を選択すると、音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。 |
| GUI カラー | ディスプレイ表示のデザイン色をお好みで「ブルー」、「レッド」、「ホワイト」、「オレンジ」から選択できます。 |
| 画面回転 | ディスプレイの表示を上下に反転させ、本機も上下に回転させると、操作パネルを左手で操作しやすくなります。表示を反転するときは「180 度」を選択し、反転しないときは「標準」を選択してください。<br>なお、本機を上下に回転させた場合でも、操作パネル上の各機能([ENTER]、[BACK]など)の位置は変わりません。<br>付属の AV ケーブルを使用して本機の映像をテレビに映し出しているときは、この設定にかかわらず標準の向きで表示されます。 |
| 言語 | 本機のディスプレイに表示される言語を「日本語」、「English」から選択します。 |
| システム | 本機のシステムソフトウェアのバージョン確認や、Setup 画面の設定項目の値を出荷時の状態に戻します。 |

**ヒント**

画質や音質、バックライトの設定は、動画、音楽、写真などそれぞれの再生または停止中に TOOLS ボタンを押してツールメニューから選択できます。詳しくは各機能(動画再生/音楽再生/写真表示)の操作説明をご覧ください。

# テレビに接続して見る

本機をテレビに接続し、本機で再生する動画ファイルや写真ファイルをテレビの画面で楽しむことができます。
本機の AV OUT コネクタと、テレビの映像／音声入力コネクタを、付属の AV ケーブルを使用して接続します。




## テレビに映像を映し出すには

テレビの入力切り換えボタンを設定して、本機からの映像がテレビに映るようにしてください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
本機の電源を入れて操作すると、ディスプレイの映像がテレビに映り、メニューの操作やファイルの再生をテレビの画面を見ながら行えるようになります。

ヒント

- テレビに接続しているときは、本機の画面に映像は表示されません。
- テレビに接続しているときに、本機の画面回転の設定を変更しても、テレビに表示される画面は常に標準の向きとなります。

# ハードディスクドライブとして使う

本機は、USB 接続型の外付けハードディスクとして使用し、データを保存したり持ち出すためのメディアとして使用することができます。
本機を接続したコンピュータで［マイコンピュータ］を開くと、本機を示すアイコンが次のように表示されます。




**ご注意**

- 本機の内蔵ハードディスク内の［hmpdb］フォルダには、ファイル管理用データなどが保存されていますので、このフォルダとその中に保存されているファイルを操作したり削除しないでください。なお、Windows の初期設定のままでは、このフォルダは見えません。
- AC アダプタを使用した場合、USB ケーブルを使用して電源を供給している場合に比べて、より短い時間でデータを転送できます。
- ファイルを Windows エクスプローラなどで直接本機にコピーしても、本機を単体で使用するときはファイルを再生できません。本機で再生／表示するためには、必ず HMP Image Transfer Manager または MUSICMATCH Jukebox で転送してください。
- 本機の電源スイッチが「HOLD」側にセットされている状態でコンピュータに接続した場合、USB ケーブル経由で内蔵バッテリの充電が行われます。このとき本機はコンピュータに認識されますが、データの読み書きを行うことはできません。
- AC アダプタを使用しないで本機とコンピュータを接続した場合、内蔵バッテリ残量が少ないときは本機の電源が入らないことがあります。本機をコンピュータに接続してもアクセスランプが点灯しないときは、AC アダプタを接続してお使いください。
- 4GB を超えるファイルを本機にコピーすることはできません。

## 内蔵ハードディスクを初期化するには

本機の内蔵ハードディスクを初期化（フォーマット）するには、付属のソフトウェア HMP Image Transfer Manager を使用します。
初期化を行うと、保存されているすべてのファイルやファイル管理用データが削除され、本機は出荷時の状態になります。

**1** **[MENU]をクリックし､表示されるメニューの[Player初期化]を選択する。**

**2** **[開始]をクリックする。**

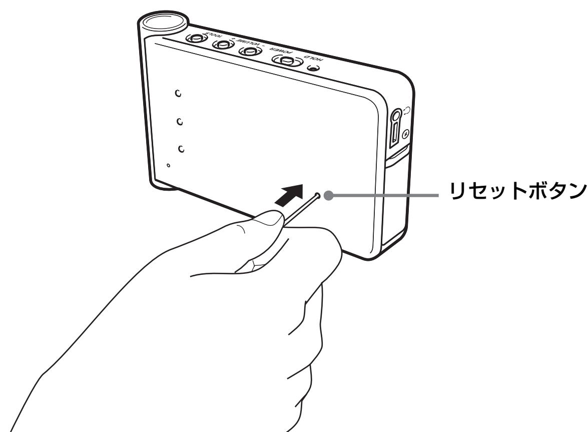
**3** **内蔵ハードディスクの初期化が開始されます。**

ご注意

- Windows で本機の内蔵ハードディスクをフォーマットしないでください。フォーマットした場合、本機でファイルの再生ができなくなる場合があります。誤って Windows で本機の内蔵ハードディスクをフォーマットしてしまったときは、必ず上記の手順に従って本機を初期化してください。
- 本機の内蔵ハードディスクを初期化した場合、出荷時に収録されていたサンプルファイルも削除されます。

# 本機をリセットする

本機の使用中に何らかの不具合が発生し、操作を受け付けなくなった場合は、電源スイッチを「POWER」側に 1 秒以上押して電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。それでも操作できないときは、先の細いもの（クリップの先など）を使用して本体背面のリセットボタンを押してください。本機の設定がお買い上げ時の状態に戻り、また操作できるようになります。



# その他

## 使用上のご注意

### 使用・保管場所について

- 必ず付属のACアダプタをお使いください。
- 端子をキーホルダーなどの金属類でショートさせないでください。
- 車の中や炎天下など、高温になるところに放置しないでください。
- 水にぬらさないでください。

### 本機の発熱について

本機が普段よりも異常に熱くなったときは、コンピュータの電源を切ってから本機を取りはずし、AC アダプタを取りはずしてください。次に、サービス窓口に修理をご依頼ください。

### 結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、電源を入れずに約 1 時間放置してください。

### ハードディスクについてのご注意

- データの読み書き中にケーブルを抜いたり、コンピュータや本機の電源を切らないでください。データが破損したり、消去されることがあります。
- ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、万一故障すると多量のデータが失われるおそれがあります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
- データが破損したり、消去されたことによる損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## お手入れ

### キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾拭きします。汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤溶液にしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

# 故障かな？と思ったら

指定のサービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
それでも具合が悪いときはお買い上げ店または指定のサービス窓口にご相談ください。
本機の最新のユーザーサポート情報は、インターネットでもご案内しています。あわせてご覧ください。
http://www.sony.co.jp/HMP/Support/

## 動作全般

| 症状 | 原因／対策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 動作が不安定。<br>ディスプレイの表示がおかしい。 | → 本体背面のリセットボタンを押してください。 | ☞ 76 ページ |
| 本機から、異音が聞こえる。 | → ファイルの再生時など、ハードディスクが動作するとカラカラと小さな音が聞こえる場合があります。これは異常ではありません。（極端に大きな音が聞こえる場合や、異音と共に本機の動作が不安定になる場合、ハードディスクドライブとして使用中にコンピュータと共に動作が不安定になる場合は、ただちにサービス窓口にご相談ください） | |
| 「データが壊れています」というメッセージが表示される。 | → 本機に保存されている、ファイル管理用データが破損しています。付属のソフトウェアを使用して、本機に保存されているファイルをすべて削除し、再度ファイルを転送し直してください。 | |
| | → 本機のハードディスクを初期化してみてください。 | ☞ 75 ページ |
| 「このファイルは再生できません」または「？」というメッセージが表示される。 | → 本機で再生できないファイルが転送されている可能性があります。 | ☞ 22 ページ<br>☞ 23 ページ<br>☞ 88 ページ |
| 「ハードウェアエラー」というメッセージが表示される。 | → 内蔵ハードディスクの故障など、本機のハードウェアに何らかの不具合が発生しています。サービス窓口にご相談ください。 | |
| タイトルリスト画面で[↑][↓] に長く触れつづけると、カーソルの動きが止まる。 | → 20秒程触れ続けると、いったん動きが止まります。指を離して、再度触れ直してください。 | |

## 電源・充電

| 症状 | 原因／対策 | 参照ページ |
| --- | --- | --- |
| 電源が入らない。 | ➔ 内蔵バッテリの残量がなくなっている可能性があります。内蔵バッテリを充電してください。 | ☞ 16 ページ |
| | ➔ 本体背面のリセットボタンを押してください。 | ☞ 76 ページ |
| 電源が切れる。 | ➔ ファイルの再生／表示を停止した状態で3分間放置すると、本機の電源が切れます。再度、電源を入れてください。 | |
| | ➔ 内蔵バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。再度、充電してください。 | ☞ 16 ページ |
| | ➔ 出荷時の内蔵バッテリは完全には充電されていません。初めてお使いになるときは内蔵バッテリを充電してください。 | ☞ 16 ページ |
| | ➔ 内蔵バッテリは、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。このため、十分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。この場合には、新しい内蔵バッテリに交換してください。内蔵バッテリの交換については、サービス窓口にお問い合わせください。 | |
| 「温度異常で停止します」というメッセージが表示されて電源が切れる。 | ➔ 本機の温度が上昇しすぎると、自動的に電源が切れることがあります。常温に戻るまでしばらく放置すると、電源が入るようになります。 | |
| 内蔵バッテリでの動作時間が短い。 | ➔ バックライトを明るく設定している場合は、暗く設定した場合よりも内蔵バッテリを消費します。バックライトを暗く設定すると動作時間を長くできます。 | ☞ 40 ページ |
| | ➔ 再生するファイルの形式やサイズによって、内蔵バッテリでの動作時間が異なります。 | |
| | ➔ 内蔵バッテリの特性上、本機を低温環境で使用すると動作時間が短くなります。 | |
| USB 接続で充電できない。 | ➔ 本機の電源スイッチを「HOLD」側にセットしてから、本機をコンピュータに接続してください。 | ☞ 17 ページ |
| | ➔ 内蔵バッテリの残量がまったくない場合、USB 接続で充電できません。AC アダプタを用いて充電してください。 | ☞ 16 ページ |

## コンピュータへの接続と取り外し

| 症状 | 原因／対策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| コンピュータに認識されない。 | ➔ 付属のソフトウエアをコンピュータにインストールしてから、本機を接続してください。 | ☞ 18 ページ |
| | ➔ 内蔵バッテリの残量がまったくない場合、本機をコンピュータに接続しても認識されません。本機に AC アダプタを接続して使用するか、AC アダプタで内蔵バッテリを少し充電してから、コンピュータに接続してください。 | ☞ 16 ページ<br>☞ 20 ページ |
| ハードディスクドライブとして使用できない。（データの読み書きができない） | ➔ 本機の電源スイッチを「HOLD」側にセットしてコンピュータに接続した場合、データの読み書きを行なうことはできません（このとき本機はリムーバブルディスクとして認識され、内蔵バッテリの充電だけが行われます）。本機をハードディスクドライブとして使用する場合は、電源スイッチが「HOLD」側にセットされていないことを確認してからコンピュータに接続してください。 | ☞ 20 ページ |
| 取りはずす時にエラーメッセージが表示される。 | ➔ コンピュータによっては、本機（ハードディスクドライブ）のウィンドウを開いたまま取りはずしを行なうと、エラーメッセージが表示されます。この場合は、ウィンドウを閉じてから、取りはずしを行ってください。 | |
| | ➔ しばらく時間をおいてから、再度手順に従って取りはずしを行ってください。 | ☞ 21 ページ |

## ソフトウェア

| 症状 | 原因／対策 | 参照ページ |
| --- | --- | --- |
| 転送できない。<br>（HMP Image Transfer Manager） | ➔ 本機がコンピュータに正しく接続されているか確認してください。<br>➔ 本機の内蔵ハードディスクの空き容量が不足していると転送できません。本機側で不要なファイルを削除してください。<br>➔ 録画予約中のビデオカプセルは、録画が終了するまで転送されません。<br>➔ お使いのコンピュータにインストールされている DirectX のバージョンが 8.0 未満の場合は、正しく転送できないことがあります。<br>➔ ビデオカプセル以外の動画ファイルを転送しているときは、動画の変換に失敗したときにエラーメッセージが表示されます。詳しくは HMP Image Transfer Manager のヘルプをご覧ください。<br>➔ ファイルの転送中にコンピュータが省電力モードになると、正しく転送されません。コンピュータの省電力機能を解除してから転送してください。また、バッテリを搭載しているコンピュータでも、本機に AC アダプタを接続して転送を行うことをおすすめします。 | ☞ 20 ページ<br>☞ 19 ページ |
| ファイルを転送リストに追加できない。<br>（HMP Image Transfer Manager） | ➔ 本機が対応していないフォーマットのビデオ／写真ファイルを転送リストに登録することはできません。<br>➔ 壊れているビデオカプセルを転送リストに登録することはできません。<br>➔ ビデオカプセルは Giga Pocket 5.0 以降で録画されたものでないと、転送リストに登録することはできません。 | ☞ 22 ページ |
| ポータブルデバイスマネージャに本機のアイコンが表示されない。<br>（MUSICMATCH Jukebox） | ➔ 本機をコンピュータに接続してから、MUSICMATCH Jukebox を起動してください。 | ☞ 30 ページ |
| 本機がソフトウェア上に表示されない。<br>（HMP Image Transfer Manager ／ MUSICMATCH Jukebox） | ➔ HMP Image Transfer Manager と MUSICMATCH Jukebox の両方を同時に起動している場合、本機がこれらのソフトウェアに認識されず、正しく表示されないことがあります。どちらか一方だけを起動させてください。 | |

## 映像

| 症状 | 原因／対策 | 参照ページ |
| --- | --- | --- |
| 映像が出ない。 | ➔ 本機をUSBケーブルでコンピュータと接続中は、映像は表示されません。 | |
| | ➔ 動画をWindowsエクスプローラなどで直接本機にコピーしても、本機で再生することはできません。必ずHMP Image Transfer Managerで転送してください。 | ☞ 24ページ |
| | ➔ 結露しているとバックライトが消える場合があります。その際は、本機の電源を切った後、しばらく常温で放置してください。湿度の高い場所では、故障の原因となるため、お使いにならないでください。 | |
| テレビに映像が出ない。 | ➔ AVケーブルが、プラグやテレビの入力端子に正しくしっかりと差し込まれているか確認してください。 | ☞ 73ページ |
| | ➔ テレビの入力切り換えスイッチを確認し、本機の映像が映るようになっているか確認してください。 | |
| | ➔ 動画の一時停止中にAVケーブルをテレビに接続したとき、一時停止中の映像はテレビに映し出すことができません。一時停止を解除すれば映像が映し出されます。 | |
| 映像が正常に再生できない。 | ➔ 本機に転送する前の元の動画や写真ファイルが、コンピュータ上で正常に再生できない場合は、本機でも正常に再生できません。コンピュータで使用している動画再生ソフトや写真閲覧ソフトなどを使用して、元のファイルがコンピュータ上で正常に再生できるかどうかを確認してください。 | |
| 操作できない。<br>再生が始まらない。<br>再生が止まる。 | ➔ 動画の長さによっては、再生が開始するまでに時間がかかることがあります。 | |
| | ➔ 本機で再生できないファイルが転送されている可能性があります。 | ☞ 22ページ |
| | ➔ 元のファイルが本機に対応するファイル形式／拡張子でも、各ファイル形式で定められている規格を満たしていないか、実際には特殊な仕様が採用されている可能性があります。元のファイルを作成したソフトウェアの取扱説明書などを参照して、ファイルの互換性についての制限や条件、ファイル作成時の適切な設定などを確認し、ファイルを作成し直してください。 | |

## 音声

| 症状 | 原因／対策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 音が出ない。 | ➔ ヘッドホンを誤って AV OUT コネクタに接続していないか確認してください。<br>➔ ヘッドホンやリモコンのプラグが、それぞれのコネクタに正しく差し込まれているか確認してください。<br>➔ 一時停止、早送り、早戻し時は、音声は出ません。 | ☞ 35 ページ<br>☞ 49 ページ |
| 音量が変更できない。 | ➔ AVケーブルを接続しているときは、本機で音量を調節することはできません。<br>➔ AVLS が有効になっている場合は、音量は一定以上大きくなりません。AVLS の設定を確認してください。 | ☞ 72 ページ |
| 音楽に雑音（ノイズ）が入る。 | ➔ 本機に転送する前の、元の音楽ファイルそのものに雑音（ノイズ）が入っている可能性があります。音楽ファイルを作成する環境を変えて、音楽ファイルを作成し直してみてください。（例：音楽 CD からのデータ読み出しに使用する DVD/CD ドライブを変える、データ読み出し時の速度を落とす、付属のソフトウエア MUSICMATCH Jukebox で音楽ファイルを作成する、など） | |
| 早送り再生／早戻し再生で [←][→] に長く触れ続けると、通常の再生に戻る。 | ➔ 20 秒程触れ続けると、通常の再生に戻ります。指を離して、再度触れ直してください。 | |

## ファームウェア／ソフトウェアのアップデート

ファームウェアやソフトウェアのアップデートにより問題が解決することがあります。
ユーザーサポートウェブページでソフトウェアのアップデートや本機の最新のファームウェアが公開されているかどうかお確かめください。（☞84 ページ）
http://www.sony.co.jp/HMP/Support/

**ヒント**

ファームウェアとは、本機の中に組み込まれていて、本機を動かすソフトウェアのことです。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

**ご注意**

- 保証およびアフターサービスは、本書裏表紙の保証書に記載された国または販売地域においてのみ有効です。
- 「液晶ディスプレイについて」（☞7 ページ）の記載に該当する理由による製品の交換や返品は、一切お受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

### アフターサービス

**保証期間中の修理は**

本書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書（裏表紙）をご覧ください。

**部品の保有期間について**

当社ではハードディスクマルチプレーヤーの補修用性能部品（部品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

**修理のご依頼について**

本製品の修理をご依頼の際は、製品本体、および AC アダプタなどの付属品一式を、お買い上げ店やサービス窓口にご提供ください。

- 本製品は持ち込み修理対象製品です。故意その他の理由でお買い上げ店やサービス窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取り外し、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。

**データバックアップのお願い**

修理に出す前に、ハードディスク内のデータは、お客様にてバックアップしてください。修理によりハードディスク内のデータが消去あるいは変更される場合があります。なお、ハードディスクそのものの故障の場合には、データの修復はできません。このような場合に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 製品サポートのご案内

この製品の使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

• ユーザーサポートウェブページ
付属のソフトウェアからアクセスできます。[メニューセレクション]の[ユーザーサポートウェブページ]をクリックしてください。
または、製品ホームページからアクセスしてください。
http://www.sony.co.jp/HMP/Support/

### 付属ソフトウェアについて

[MUSICMATCH Jukebox]および[HMP Image Transfer Manager]の詳しい使いかたについては、オンラインヘルプをご覧ください。

### サポート窓口について

お電話でのご相談については、以下窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。

- 型名：HMP-A1
- 製造番号
- 製品の購入年月日・ご購入店名
- ご使用のパソコンのメーカー・型番
- パソコンの仕様（CPU 速度、メモリー容量など）
- ご使用のソフトウェア
- 不具合時の状態：できるだけ詳しく（動画や音楽の作成に使用したソフトウェアと、各種設定条件について詳しく）

### ソニーストレージコール

TEL 0475-58-0931
受付時間
月～金（祝日を除く）
10:00 から 18:00

## 用語集

### AVLS

Automatic Volume Limiter System の略で最大ボリュームを小さく抑える機能です。
再生中の音楽信号の状態をつねに監視、音漏れポイントを超えないようにヘッドホンから出る音量をコントロールします。
電車やバスで聴くときなど、耳にも周囲にもやさしい音で楽しめます。

### BMP

Windows が標準でサポートしている画像形式です。通常は無圧縮で保存される画像のため、フルカラー（約 1677 万色）では、ファイルサイズが大きくなります。米国マイクロソフト社が開発した、Windows 上で画像や音声などのマルチメディア・アプリケーションを高速に動作させるためのプログラムです。バージョンが古いと、アプリケーションの動作に影響を及ぼすことがあります。

### DirectX

米国マイクロソフト社が開発した、Windows 上で画像や音声などのマルチメディア・アプリケーションを高速に動作させるためのプログラムです。
バージョンが古いと、アプリケーションの動作に影響を及ぼすことがあります。

### JPEG

「ジェイペグ」と読みます。Joint Photographic Expert Group の略で、静止画像データを圧縮する技術、またはその技術で圧縮したファイルのことです。写真などの画像を 1/10 ～ 1/100 程度のサイズに圧縮できるので、ネットワークを通じた画像のやり取りに向いています。

### MPEG

「エムペグ」と読みます。Moving Picture Experts Group の略で、デジタル動画や音声を圧縮する技術、またはその技術で圧縮したファイルのことです。DVD では、品質の良い画像や高い圧縮形式が得られる「MPEG2」フォーマットが採用されています。

### MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、音声データ圧縮技術のひとつです。
MP3 で圧縮したファイルのサイズは、WAV ファイルの 10 分の 1 程度にまで小さくなります。このため、5 分間の曲なら 1 枚の CD-R ディスクに 100 曲以上も記録できます。

### USB 2.0

Universal Serial Bus 2.0 の略で、従来の USB 1.1 の規格に加えて最高 480Mbps でデータをやり取りできる HS（High Speed）モードが用意されています。ハードディスクや CD-R などのストレージ機器を接続しても十分な転送速度を確保しています。

### WAV

Windows で標準の音声ファイルの形式です。圧縮されていないので音質は MP3 よりも高く、ファイルのサイズは MP3 の 10 倍程度になります。

### スクイーズ方式

画面比 16：9 の映像を、画面比 4：3 に収まるように横方向に圧縮して収録する方式です。
アナログ地上波などを録画した動画の画面比は一般に 4：3 ですが、動画によっては画面比 16：9 で制作されていることがあります。動画を扱うビデオ機器やソフトウェアなどによっては、スクイーズ方式を使用することにより、画面比 16：9 で制作された動画を画面比 4：3 のサイズに収めることができます。DVD などのパッケージソフトの一部は、この方式で映像が収録されています。

### プレイリスト

MP3 などの音楽ファイルの演奏順を決めるリストです。MP3 再生ソフトウェアなどで簡単に作成／編集できます。
音楽ファイルと共にハードディスクや CD-R などに書き込むことで、プレイリストの順に音楽ファイルを再生することができます。

# 主な仕様

## 本体

### 表示部
3.5 型 TFT カラー液晶
320 × 240 ドット

### 内蔵ハードディスク
20 GB[*1]

### 再生ファイル形式（本体）[*2]
動画： MPEG1
（ビットレート：最大 2Mbps）
MPEG2
（ビットレート：最大 8Mbps）
MPEG4
（ビットレート：最大 1Mbps）
写真： JPEG
（ファイルサイズ：最大 6MBytes）
音楽： MP3
（ビットレート：64Kbps-320Kbps、推奨 128Kbps）
WAV
（サンプリング周波数：44.1KHz、16bit）

### 収録可能ファイル数[*5]
動画：最大 200 ファイル
音楽：最大 5,000 ファイル
最大 1,000 プレイリスト
（1 プレイリスト当たりの登録曲数：最大 256 曲）
写真：最大 1,000 ファイル

### インターフェース
USB 2.0 準拠
（Hi-Speed USB 対応）[*3]

### 最大転送速度（USB2.0 対応機器に接続時）
最大 480Mbps

### 外部接続
ステレオヘッドホン出力
（リモコン入力一体型）× 1
出力：16Ω 4mW+4mW
AV 出力
（NTSC 対応、ステレオ音声出力）× 1
周波数特性：20Hz ～ 20KHz ±1dB
USB（Mini-B）× 1

### 電源
AC アダプタ、リチウムイオン充電池（内蔵）または USB バスパワー

### AC アダプタ
電源：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
（プラグ形状は AC 100 V 用です）
出力電圧、電流：5.2 V、最大 2 A

### リチウムイオン充電池
充電時間
AC アダプタ使用時：約 2.5 時間
USB バスパワー使用時：約 7 時間
再生時間
（バックライト設定：2/5 スケール）[*4]
MPEG2（4Mbps）：約 4 時間
MP3（128Kbps）：約 8 時間

### 消費電力
約 1.9 W（動画再生時）

### 温湿度条件
動作時温度：5 ℃～ 35 ℃
動作時湿度：20% ～ 80%（常温）

### 本体外形寸法（幅／高さ／奥行き）
約 129.6 mm × 75.6 mm × 22mm
（最大突起部含まず）

### 本体質量
約 250 g

**付属品**
ヘッドホン（1）
リモコン（1）
AV ケーブル（1）
USB ケーブル（1）
AC アダプタ（1）
電源コード（1）
ハンドストラップ（1）
キャリングケース（1）
ソフトウェアディスク（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）

*1 1GB を 10 億バイトで計算した場合の数値です。Windows では 1GB=1,073,741,824 バイトで計算しており、Windows に認識される容量は、若干小さい数値になります。
*2 記載条件を満たすあらゆるファイルに対して、再生や動作を必ずしも保証するものではありません。
*3 接続されるコンピュータが USB2.0 に対応していない場合、Full-speed の転送速度となります。
*4 使用状況や再生ファイルの仕様などにより異なる場合があります。
*5 本機システムの制約上、最大ファイル数まで収録できない場合もあります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 索引

## あ



## お



## か



## け



## こ



## さ



## し



## す



## せ



## そ



## た



## て



## と



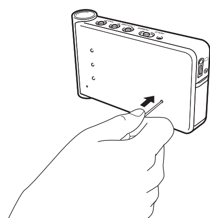
## は



## ひ

その他

本機が正常に動作しない場合は、サポート窓口にお問い合わせいただく前に本機のリセットを行ってください。不具合が解消されることがあります。
詳しくは「本機をリセットする」
（☞76 ページ）をご覧ください。



本機の使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

| ソニーストレージコール |
| --- |
| **TEL：0475-58-0931** |
| **受付時間**<br>**月～金（祝日を除く）**<br>**10:00 から 18:00** |

http://www.sony.co.jp/



この説明書は100%古紙再生紙と、
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan